近　　畿

◇「平成27～29年度NHK経営計画」の重点目標の１つに掲げられている「本部バックアップ機能の強化」に向けて，10月以後は平日午後２時台の総合テレビの全中ニュースを大阪のニューススタジオから原則毎日制作・送出するなど，実施体制や運用の強化に取り組んだ。

◇22年目を迎えた阪神・淡路大震災関連では，15年度に引き続き「あの日を胸に未来へ」というテーマに基づき，大阪局と神戸局でさまざまな関連特集番組を制作・放送した。

◇４月に行われた衆議院議員京都３区補欠選挙や７月の第24回参議院議員通常選挙では，政見・経歴放送や開票速報に万全を期した。

◇『連続テレビ小説』「べっぴんさん」は，戦前から戦後の神戸を舞台に子供服作りにまい進したヒロインと，その家族や仲間たちが紡ぎ出す愛と希望の物語を描いた。

◇『歴史秘話ヒストリア』は，放送日時を金曜午後８時台に移し，家族そろって楽しめる番組として内容の充実を図った。また，福祉番組『バリバラ』も，すべてのマイノリティーに向けた番組としてリニューアルした。さらに，『クローズアップ現代＋』『うたコン』など，大阪局制作番組の全国発信を強化した。

◇関西各地の魅力や風土を，そこに暮らす人々の暮らしや営みを通して描き出す旅番組『えぇトコ』は，週末の午前中にゆったりとした気分で見られる旅番組としての定着を目指した。また，地域経済番組『ルソンの壺』も関西企業の強みや魅力，企業哲学を多角的に紹介した。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

（１）関西および全国の安全・安心を守る

「本部バックアップ機能の強化」に向けて，マニュアル送出・緊急報道対応を強化したNCニュース卓での初動送出訓練を年１回（3.1）実施した。また，平日午後２時台の全中ニュースを，10月以後，大阪局のニューススタジオから原則毎日制作・送出したほか，放送センター機能停止時における大阪局の２か国語放送の実施体制の構築に向けて，10月以後は月１回，最終日曜に，総合テレビの午後８時台の管中ニュースで２か国語放送を実施した。さらに，大阪局に整備された同時通訳ブースの設備・機材を，平時から放送などに活用して緊急時の対応に備えるために，地域経済番組『ルソンの壺』の素材を活用したニュース企画を収録し，『NEWSROOM　TOKYO』（NHKワールドTV）の中で随時放送した。

４月14日に発生した熊本地震を受けて，『バリバラ　生放送「熊本地震～被災地の障害者は今」』（E，4.24）を急きょ放送。各地で被害が広がる中，被災した障害者が置かれている現状や，必要な支援について生放送で伝えた。

阪神･淡路大震災については，全国放送では，『関西発ラジオ深夜便』（R1，1.13），『あさイチ』「災害から命を守る町作り」（G，1.16），『NHKスペシャル』「女たちの大震災～最新医療が迫る　体と心のリスク～」（G，1.17），『こころの時代～宗教・人生』「この命を未来へつなぐ～阪神・淡路大震災から22年～」（E，1.22），『ETV特集』「熊本地震　試練の村～西原村の９か月～」（E，2.18）を放送した。また，１月17日には，災害から22年目を迎えた神戸の街の様子を，発災時刻を中心に『おはよう日本』枠内で中継で伝えたほか，『ニュース７』をはじめとする各番組でも当日の動きを伝えた。

近畿ブロック放送では，『ニュースほっと関西』枠内でカメラマングループの４Kプロジェクト「震災アーカイブプロジェクト」を15年度に引き続き展開したほか，同企画を２分ミニ番組として再構成し，12月末から１月17日に向けて随時放送した。また，『おはよう関西』『ニュースほっと関西』『ウイークエンド関西』等の各定時番組で，震災22年の前週から震災関連企画を集中的に放送した。『かんさい熱視線』「最後の一人まで救う～神戸から熊本へ　災害支援最前線～』（G，1.13）では，阪神・淡路大震災をきっかけに誕生した災害支援団体が，熊本地震の被災地で発災直後から活動する様子に密着取材した。同番組は，１月17日午後２時台の『スタジオパークからこんにちは第２部』で全国に向けても放送した。また，震災で１歳半の双子の兄を亡くした大学生が，自身の母親の20年を見つめた卒業制作のドキュメンタリーで，第36回「地方の時代」映像祭の優秀賞を受賞した『母が語る　～阪神・淡路大震災から20年～』（G，1.15）を近畿ブロック向けに放送。同番組は，１月16日（月）午後２時台の『スタジオパークからこんにちは　第２部』にて，全国に向けても放送した。

甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地

震」については，全国向けの番組として，『防災の日ラジオ特集～南海トラフ巨大地震・命を守るために』（R1，9.1）を放送。最大震度７や大津波が想定される巨大地震に備えて，命を守る取り組みを多角的に伝えた。近畿ブロック向けには，平日夕方６時台の番組『ニュースほっと関西』（G，月～金）で，防災や減災に関する企画を年間を通して随時放送した。また，熊本地震の事例を基に巨大地震への備えを考える『いのちのラジオ～真のバリアフリーとは～』（R1，1.14）を放送。関西の民放各局とNHKが加盟するAMラジオ災害問題協議会の共同制作番組として，災害弱者への防災支援体制の課題や，必要な取り組みについて考えた。

（２）視聴者の判断のよりどころとなる正確・迅速な報道

夕方６時台の各府県向けのニュース情報番組『ニュースほっと関西』（G，年間233本）は，15年度に大幅刷新した全体構成を継続し，６時10分から６時30分までは関西一円のニュースやスポーツ情報を伝えるブロック単位の時間帯，６時30分以後は域内の各放送局から地域のニュースを伝える府県単放送の時間帯とした。各府県単放送では，大阪局は『ニュースほっと関西』，各局は『ニュース630　京いちにち』（京都），『ニュースKOBE発』（神戸），『あすのＷＡ！』（和歌山），『ならナビ』（奈良），『おうみ発630』（大津）をそれぞれ放送した。

第24回参議院議員通常選挙（６月22日公示，７月10日投票日）は，兵庫県選挙区で定数が１増えたことで，関西２府４県の選挙区の定数は12となり，前回より６人少ない30人が立候補した。関西での各党の獲得議席は自民党が６議席，おおさか維新の会が３議席，公明党が２議席，民進党が１議席となった。近畿ブロックにおける政見・経歴放送の総放送時間は，テレビは６時間48分（前回比：１時間59分30秒減），ラジオは７時間08分25秒（前回比：１時間56分35秒減）と，前回の13年より減少した。開票速報については，総合テレビでは，近畿ブロックと大阪単の合計が３時間15分34秒（13年比：43分44秒増），ラジオでは近畿ブロックでの上乗せが１時間30分（13年比：11分10秒増）であった。

（３）人々の暮らしに密着した社会動向や地域の課題に向き合う番組

金曜午後７時30分からの報道番組『かんさい熱視線』（G，年間32本）では，放送時間を３分拡大し，関西の視聴者が関心を持つさまざまな事象や注目すべきニュースをより早く深く掘り下げながら，関西の“今”を伝えた。紀伊半島豪雨から５年の節目となる９月には，「紀伊半島豪雨５年土砂災害から命を守れ」（9.2）を放送。土砂崩れの発生メカニズムや危険個所を解明する最新の災害研究を取り上げながら，命を守るために不可欠な知識を紹介し，必要な備えについて考えた。また，いじめが原因で大津市の男子中学生が自殺した事件から５年となった10月には，『かんさい熱視線』「いじめを防げ～大津市　現場改革の模索～」（10.21）を放送。「いじめ対策担当教員」を新設し，学校現場の改革に乗り出している大津市での取り組みや，親や先生の見えないところに広がる，SNSを使った「ネットいじめ」の現状を取り上げ，いじめを防ぐために，大人と子どもの双方がそれぞれできることを探った。さらに，カジノを含むＩＲ・統合型リゾート施設の整備推進法の成立を受けて，実際に誘致された場合の大阪経済への影響や地域の課題を検証する『かんさい熱視線』「カジノは大阪に何をもたらすのか～ＩＲ整備推進法～」（2.3）を放送した。

16年度から放送時間を平日午後10時台に移設しリニューアルした全中番組『クローズアップ現代＋』を，年間13本大阪局担当分として制作し，世の中のさまざまな事象や社会問題の核心に迫った。

京都府の福祉施設で職員が障害者を暴行し，怪我（けが）を負わせる事件が発覚したことを受け，福祉施設での障害者虐待の問題を考える『バリバラ』「バリバラジャーナル　障害者虐待」（E，7.17）を放送するとともに，『かんさい熱視線』「虐待は止められるか～障害者施設・現場からの報告～」（G，7.22）でも，問題が起きた施設の関係者や家族を取材し，虐待を防ぐ取り組みについて考えた。また，７月26日に起きた神奈川県相模原市の障害者施設での殺傷事件を受けて，『バリバラ』「緊急企画～障害者殺傷事件を考える」（E，8.7）を放送。事件の背景に何があるのか，再発を防ぐために何が必要かを考えた。

関西経済の成長の鍵やアイデアを，専門家や市民が話し合うスタジオ討論番組『関西UP！』を年２回放送した。第１回は「～観光でもうけまSHOW～」（G，10.28）と題して，インバウンドに湧く関西の観光をテーマに，地域の活性化や課題解決への道筋を探った。第２回は，関西の人口流出をテーマに，関西で生き生きと働き，暮らせる方法を考える「STOP！人口流出　関西に住みまSHOW」（G，3.27）を放送した。

自転車事故が多発している大阪府の現状を踏まえて，大阪局では“STOP！危ない自転車キャンペーン”を展開した。春と秋の全国交通安全運動期間中を中心に，『関西ホットライン』（R1，月～土）や，『関西ラジオワイド』（R1，月～金）で，アイドルグループ・NMB48を起用したラジオミニドラマを展開したほか，自転車の正しい乗り方や交通ルールを啓蒙（けいもう）する１分ミニ番組を総合テレビで随時編成した。また，特設ホームページでも動画クリップを掲載して，自転車の安全運転を広く呼びかけた。

インバウンドで多くの外国人観光客が訪れる関西地方の地域性を踏まえて，空港からの電車の乗り方や，電車のICカードの購入方法，関西各地の観光名所など，実用情報をポイントを絞ってまとめたミニ番組『ONE MINUTE ADVISER』を年間５本制作し，日本語字幕付きの英語番組として随時放送した。日本語字幕を付与することで，外国人が観光に際して戸惑うポイントを日本人に向けて分かりやすく伝え，関西の視聴者が訪日観光客への理解を深めたり，コミュニケーションのきっかけとなったりするような番組を目指した。また，番組ホームページは，英語・中国語・韓国語の３つの言語に対応し，アジアからの観光客のニーズに応えた。

（４）関西の魅力を掘り起こし，地域の活性化に貢献

５年目を迎えた旅番組『えぇトコ』（G，年間30本）を土曜午前10時台に移して放送。関西各地に暮らす人々と旅人との触れ合いを通して，その土地に暮らす人々の思いや地域の魅力を丁寧に描いた。

日曜午後１時台には，大阪局発の若者向け番組として『じもてぃ愛情マップ　みんな　すきやねん！』（G，年間30本）を新設。地元の学生たちに関西の街のさまざまな魅力をリポートしてもらいながら，クイズ形式で楽しく紹介した。

10年目を迎えた地域経済番組『ルソンの壺』（G，年間12本）は，15年度に引き続き月１回・40分の放送を継続し，関西企業の強みや魅力，企業哲学や発想の極意を多角的に紹介した。

平日午前の『ぐるっと関西　おひるまえ』（G，年間222本）は，14年度から取り組んだ番組冒頭でのデータ放送の双方向演出「ぐるかんラッキーベル」を継続して実施。番組の視聴習慣を作るとともに，デジタルコンテンツの充実による視聴者サービスの向上を目指した。

定時の全国放送番組では，『NHK歌謡コンサート』を刷新した音楽番組『うたコン』（G）をNHK大阪ホールから年間９本生放送したほか，放送時間を平日午後10時台に移設しリニューアルした『クローズアップ現代＋』（G）を年間13本制作した。また，『助けて！きわめびと』（G）を定時番組として継続し，大阪局の全国発信を強化した。

放送日時を金曜午後８時台に移した『歴史秘話ヒストリア』（G）は，８年目を迎えた歴史番組として，歴史上の人間ドラマや感動秘話を幅広く取り上げながら，バラエティーあふれるラインナップで家族そろって楽しめる番組を目指した。17年１月からの『大河ドラマ』「おんな城主　直虎」のスタートに合わせ，謎に包まれた女城主・井伊直虎にまつわる素朴な疑問に応えて，『大河ドラマ』をより楽しんでもらう『歴史秘話ヒストリア』「おんな城主　直虎のイロハ」（1.6）を放送した。

12年度の放送開始以来反響を呼んでいる福祉番組『バリバラ』（E）も，生きづらさを抱えるすべてのマイノリティーに向けた番組としてリニューアルした。８月には，『バリバラ』「生放送検証！〈障害者×感動〉の方程式」（8.28）を放送。「障害者を描くのに感動は必須か？」をテーマに，世の中にあふれる「頑張る障害者」「感動を与える障害者」のイメージを徹底検証しながら大激論し，多くの反響を呼んだ。また，『バリバラ』関連特集企画として体育の日に放送された12時間のテレソン企画『東京2020　12時間スペシャル→2020』（G，10.10）では，15年に引き続き，番組独自のファッションショー「バリコレ」を六本木ヒルズアリーナで開催。2020東京オリンピック・パラリンピックのキーワードとなる「多様性」を体現するショーのもようを，総合テレビで生放送した。さらに，健常者が当たり前にもつ「障害者への見方」について，健常者と障害者がタブーなき議論で話し合いながら，互いの理解を目指すバリアフリー・エンターテインメント企画『ココがズレてる健常者～障害者100人がモノ申す～』（G，12.21）を総合テレビの年末特集として全国放送した。

このほか，『バラエティー生活笑百科』（G），『ミュージック・ポートレイト』（E），『かんさい土曜ほっとタイム』『上方演芸会』（R1）などを制作した。

NHK大阪ホールを活用した番組では，事業イベント「BKワンダーランド」と連携した企画として，若者向け特集番組『音楽は，君たちの味方

だ2016』(G, 11.20）を公開収録した。この番組は，15年に起きた寝屋川市の中学生殺害事件を機に，寂しさや生きづらさを抱えた若者たちを“音楽の力”を通して励ますことを目指した公開収録番組であり，15年に引き続き，人気ミュージシャンたちがスペシャルライブを通じて若者たちにエールを送った。また，地域特集番組『漫才祭り』(G, 年２本）や『上方落語の会』(G）などの収録を実施したほか，『第47回NHK上方漫才コンテスト』(G，2.24）を生放送した。“上方落語”については，地域特集番組として，『桂文枝の落語新世紀』(G，1.4）でも取り上げた。

『連続テレビ小説』「べっぴんさん」では，放送開始に向けた特集番組として，金曜夜８時台に『もうすぐ！連続テレビ小説「べっぴんさん」』(G，9.30）を43分間の番組として放送。戦後の神戸を舞台に，戦争の苦難を乗り越えて子供服店を創業したヒロインの物語の見どころをたっぷりと紹介した。同番組は，近畿ブロックでの放送に先立ち，29分間の番組として，９月22日に総合テレビで全国に向けても放送した。また，「べっぴんさん」関連特集番組として『連続テレビ小説「べっぴんさん」ファン感謝祭～THE男会～』(G，1.29）を放送。ドラマの出演者たちがNHK大阪ホールに集まり，役への思いや撮影秘話などを披露した。同番組は，２月４日深夜の総合テレビで全国に向けても放送した。また，17年４月１日には，出演者も交えて「べっぴんさん　最終回を見る会」をNHK大阪ホールで実施し，多くのファンと最終回の感動を分かち合った。

（５）関西ならではの活力や，多様で豊かな文化・風土を全国・世界に発信

関西の文化や奥深い歴史を伝える特集番組として，８月には『スーパープレミアム』「スペシャルライブ！京都　五山送り火」(BSP，8.16）を放送した。京都市内10か所にカメラ31台を設置し，古都の夏の夜空を彩る「五山送り火」を３時間の生中継で伝えた。また，年始特集番組として，『歴史秘話ヒストリアSP』「古代ミステリー　東大寺“七重塔”の謎」(G，1.3）を，73分間で全国に向けて放送。1300年前に建てられ，歴史の闇に消えた幻の塔の謎の解明に挑む専門家のスペシャルチームに密着しながら古代史ミステリーに迫った。

８月１日からBSで始まったスーパーハイビジョン試験放送のコンテンツとして，『吉野の桜祈りと再生の物語』(SHV, 9.26ほか）を制作した。日本一の桜の名所として知られる奈良・吉野山を舞台に，雅楽師の東儀秀樹さんが，桜に込められた人々の思いをたどって作曲した楽曲を，NHK交響楽団のフルオーケストラと篳篥（ひちりき）の競演で届けた。

大阪発の視聴者参加型お笑い開発番組として，『30秒芸人』(G，10.15）を放送。30秒という限られた時間内での“笑い”にかける若手芸人たちが，事前のネット投票で出場権を獲得した後，生放送で「30秒ネタバトル」を繰り広げた。オンエア中にはスマートフォンとデータ放送による“視聴者ジャッジ”を実施し，オンタイムでの視聴者判定を通して，各ステージをクリアできる芸人を視聴者が選ぶ演出を実施した。

16回目を迎えた『わが心の大阪メロディー』(G，12.13）では，NHK大阪ホールをキーステーションに，大阪にまつわる数々の名曲を全国に向けてたっぷりと届けた。今回は『連続テレビ小説』「べっぴんさん」でヒロインの祖母を演じた俳優・中村玉緒と，『大河ドラマ』「真田丸」で真田家に仕える“忍び”の佐助役を演じた藤井隆が司会を務め，「食いだおれ」をテーマに，大阪の名物グルメを名曲と共に繁華街から生中継で紹介した。また，異なる視点から番組を楽しむ仕掛けとして，dボタン連動企画や，副音声での“裏トーク”展開などを実施，大阪から届けるステージショーならではの明るさを満載した。

総合テレビの正月特集番組として，『新春・バラエティー生活笑百科』(G，1.1）を２部構成で放送した。第１部では，年末年始にちなんだ相談を取り上げたほか，第２部では吉本新喜劇との初のコラボレーションを実施し，大阪ならではの笑いあふれる特集番組を全国に向けて展開した。

『アオゾラカット～大阪発地域ドラマ～』(BSP，3.15）では，いまも厚い人情が残る街，大阪・西成を舞台に，親子の絆や地域のつながりを明るくさわやかに描いた。“ターゲット80”活動に連動した取り組みとして，営業や広報，制作，編成，デジタルサービスなど，関係部局が密接に連携を図りながら，効果的な視聴者サービスの構築や営業活動の推進に向けた取り組みを進めた。

ラジオの特集番組『まいど！大阪弁でしゃべるデー』(R1, 10.29）では，“人情”や“笑い”など，生命力あふれる街・大阪をテーマに，多彩なゲストが繰り広げる大阪弁のトークと音楽を交えながら，大阪の魅力や奥深さをおよそ５時間にわたって伝えた。

（６）視聴者の期待に応えるスポーツソフト

関西で行われるさまざまなスポーツを全国に向けて積極的に発信した。『第98回全国高校野球選

手権大会』（G，E，R1，FM，8.7～21）では，総合テレビ・教育テレビ合わせて125時間45分にわたる全試合を生中継で伝えた。試合間には，甲子園での名勝負をコンパクトに伝えるVTRをインサートする演出も取り入れ，高校野球の魅力を効果的に引き立てた。また，『第89回選抜高校野球大会』（G，E，R1，FM，3.19～4.1），『第42回社会人野球日本選手権 決勝』（BS1，11.8），『第18回全日本学生柔道　体重別団体優勝大会』（Eサブ，10.30），『第71回甲子園ボウル 全日本大学アメリカンフットボール選手権決勝「早稲田大」対「関西学院大」』（BS1，12.18）などのアマチュアスポーツを伝えた。

注目のロードレースとして，『女子第28回・男子第67回全国高校駅伝』（G，R1，12.25），『第35回全国都道府県対抗女子駅伝』（G，R1，1.15），『第22回全国都道府県対抗男子駅伝』（G，1.22），『第72回びわ湖毎日マラソン』（G，R1，3.5）を放送。インターネットへのサービス展開として，16年度から新たにホームページおよびNHKスポーツアプリでマルチチャンネルライブストリーミングを実施し，複数の画面から見たい中継映像をリアルタイムで選択視聴できるサービスを提供した。さらにホームページでは，競技速報に加え，中継所動画やハイライト動画など，レース展開を伝える動画クリップを随時公開した。このほか，『競馬「第77回菊花賞」』（G，10.23），『Bリーグ「大阪エヴェッサ」対「栃木ブレックス」』（BS1，2.4）などを中継した。

地域放送では，リオオリンピック・パラリンピック関連の管中特番として，『はばたけ！リオへ～かんさい情熱のアスリートたち』（G，7.8）を放送。直前に迫った夢の舞台に初挑戦する関西ゆかりのアスリートたちの情熱に迫った。また，第89回選抜高校野球大会に関西から出場する７校の戦力や見どころを紹介する『球春！センバツ！甲子園！「注目の球児たち　関西特別号」』（G，3.18）を放送するなど，スポーツ中継への関心を高める取り組みを行った。そのほか，プロ野球（G），サッカーJリーグ（G），などプロスポーツの生中継のほか，『第45回関西学生サッカー選手権―決勝―「大阪体育大」対「関西大」』（E，6.5），『第61回全国高校軟式野球選手権大会―決勝―』（R1，8.30），『第98回全国高校野球選手権大会』の関西２府４県大会の決勝戦（G，R1，FM，7.25，27～28，31），『秋季近畿地区高校野球大会』（R1，FM，10.29～30，11.3，5），『関西大学ラグビー「同志社」対「天理大」』（E，12.3），『全日本大学アメリカンフットボール選手権　西日本代表決定戦「関西学院」対「立命館」』（E，12.4）などを中継した。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『おはよう関西』　G

月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.3／近畿ブロック／毎週月曜から金曜まで，各地の最新ニュースや気になるお天気，話題の深層を探るリポート，この時間帯ならではの季節の風物詩など，生中継を交え，コンパクトに各地の情報を伝えた。

『ウイークエンド関西』　G

土　7:30～ 8:00

第１回92.4.11／近畿ブロック／土曜の朝，週末の外出に役立つ多彩な情報を伝える番組。各地の町の魅力を掘り下げる「西日本の旅」をはじめ，イベントや旅の情報，食や行事など，その土地の“旬”を伝える中継や，気になる気象情報，話題の人へのインタビューなどを届けた。

『ぐるっと関西　おひるまえ』　G

月～木　11:30～12:00
金　11:05～12:00

第１回03.4.3／近畿ブロック／関西２府４県の各局を結んで届ける情報番組。今が旬の人物から，文化，芸能，スポーツ，おでかけ情報まで，関西にまつわるさまざまな話題を，関西各局のネットワークを活用しながら情報発信した。

『ニュースほっと関西』　G

月～金　18:10～18:59

第１回15.3.30／大阪単（一部，近畿ブロック）／大阪と関西２府４県のニュースを深く掘り下げて伝えるニュース情報番組。“より深く，鋭く，そして一層親しみやすい”をモットーに，地域密着のホットなニュースやほっとする話題を発信した。冒頭20分間の関西地域向け放送では，その日のニュースにこだわり，中継や記者・キャスター解説などの“プラスα”でより分かりやすく伝えた。大阪府域向けには，災害に備える防災・減災事情や街の話題，話題の人に迫るインタビューなどを伝えた。　各局タイトル：京都『ニュース630　京いちにち』，神戸『ニュースKOBE発』，和歌山『あすのWA！』，奈良『ならナビ』，大津『おうみ発630』

『関西845』　G

月～金　20:45～21:00

第１回96.4.1／大阪単／関西の１日をコンパク

トにまとめたニュース。各局タイトル：京都『京都ニュース845』，神戸『兵庫ニュース845』，奈良『なら845』，大津『おうみ845』，和歌山『わかやま845』

『上方落語の会』　G

金　15:15～15:58

第１回11.4.20／近畿ブロック／旬の若手の落語家から，ベテラン，重鎮，時には東京からも出演者を迎え，多彩な出演者がとっておきのネタを披露。バラエティー豊かな内容で落語の魅力を届けた。

『かんさい熱視線』　G

金　19:30～19:58

第１回08.4.4／近畿ブロック／政治･経済･教育･医療から文化・芸能・スポーツ・恋愛・グルメ事情まで，関西にまつわるニュースや出来事，社会の動きに素早く反応。さまざまなジャンルの「視聴者が知りたいこと」に応えるため，現場に寄り添い深く掘り下げ関西社会の“今”を伝えた。16年度は放送時間を３分拡大して28分間放送した。

『えぇトコ』　G

土　10:05～10:48

第１回12.4.13／近畿ブロック／えぇトコを見つけて関西の魅力をたっぷりと紹介する旅番組。毎回異なるテーマで，関西各地に暮らす人々と旅人との触れ合いを通して，その土地に暮らす人々の思いや地域の魅力を丁寧に描いた。15年度からは字幕放送を開始した。

『じもてぃ愛情マップ　みんな すきやねん！』新　G

日　13:05～13:48

第１回16.4.10／近畿ブロック／NHK大阪局が若者とタッグを組み，関西の街の魅力を紹介していく新番組。舞台となる街を地元の学生たちが徹底リサーチし，個性豊かな地域の人々と出会いながら，その街の魅力が伝わる“とっておき”のエピソードをクイズにして出題。笑いあふれた解答をスタジオで楽しみながら，視聴者が関西の街をもっと好きになるような番組を目指した。

『ルソンの壺』　G

（最終）日　7:45～ 8:24

第１回14.4.27／近畿ブロック／16年度で10年目を迎えた地域向け経済情報番組。メイン企画として毎回身近なテーマを設定しながら，そのテーマを解決する「ツボ」をさまざまな関西企業の中に探していくことで，関西企業の「魅力」や「強み」「信念・理念・哲学」を掘り下げた。

『関西ラジオワイド』　R1

月～金　16:05～18:00

第１回00.4.3／近畿ブロック／「楽しく聴ける情報満載の安心ラジオ」として，緊急時の報道と地域に密着した生活情報番組を目指した。また，ポエムや川柳の人気コーナーでは，幅広い年代のリスナーとの交流を深めた。

『かんさいミュージックBOX　なみはな』　FM

月～金　18:00～18:50

第１回09.3.30／近畿ブロック／FM音楽番組。『FMサウンドポケット　なみはな』をリニューアルした地域向け音楽番組。地域ミュージシャンの発掘と紹介に重点を置き，関西ゆかりのアーティストの音楽とその魅力に迫った。

（２）主な特集番組

『えぇトコ スペシャル「えぇ暮らしおじゃします！」』　G　4.15

定時番組『えぇトコ』の総集編スペシャル。海･山・町など，関西各地のさまざまな“えぇトコ”を訪れながら，地域に生きる人々の暮らしの営みや豊かな風土を描き出した。

『はばたけ！リオへ～かんさい情熱のアスリートたち～』　G　7. 8

リオオリンピック・パラリンピック関連地域特集。直前に迫った夢の舞台に初挑戦する関西ゆかりのアスリートたちの情熱に迫るとともに，注目の代表選手たちのメッセージも多数紹介した。

『漫才夏祭り2016』　G

7.29

５回目を迎えた夏の恒例『漫才夏祭り』。西川きよしと月亭八方を司会に迎え，ベテランから若手まで，幅広く多彩な芸を披露した。アーカイブス企画では，上方漫才をリードしてきた「兄弟漫才」を特集。中田ダイマル・ラケット，夢路いとし・喜味こいし等の懐かしの映像満載で届けた。客席から「お題」を募集する恒例の「即興漫才」のコーナーも，ステージをにぎやかに彩った。

『鉄オタ選手権～南海電鉄の陣～』　G

9.22

創業130年を迎えた「現存する日本最古の私鉄」である南海電車に乗りながら，鉄道や沿線にまつわるさまざまな難問に挑む“鉄道クイズ旅”。

『もうすぐ！連続テレビ小説「べっぴんさん」』　G　9.30

戦後の神戸を舞台に，戦争の苦難を乗り越えて子供服店を創業したヒロインの物語の見どころを，撮影の舞台裏や出演者の素顔などの秘蔵映像も交え，たっぷりと紹介した。

『関西UP！～観光でもうけまSHOW～』　G

10.28

関西経済の成長の鍵やアイデアを，専門家や市民が話し合うスタジオ討論番組。１回目となる今回は，インバウンドに湧く関西の観光をテーマに，地域の活性化や課題解決への道筋を探った。

『上方浪曲特選「特別編～春野百合子さんの浪曲」』　G　11. 4

10月に亡くなった女流浪曲の第一人者，春野百合子さんをしのび，春野さんの代表的な演目「高田の馬場」を，浪曲作家の芦川淳平さんと弟子の春野恵子さんの案内で放送した。

『音楽は君たちの味方だ2016』　G

11.20

15年に起きた寝屋川市の中学生殺害事件を機に，寂しさや生きづらさを抱えた若者たちを“音楽の力”を通して励ますことを目指した公開収録番組。15年に引き続き，人気ミュージシャンたちがスペシャルライブを通じて若者たちにエールを送った。

『プサンすてき出会い旅』　G

12. 2

豊富な山海の幸と厚い人情の町，韓国･プサン。大阪と同じく，共に国内第２の都市であるプサンを旅しながら，絶品の伝統料理や愛にあふれたすてきな人々との触れ合いを通じて，プサンの魅力を満喫する出会い旅。NHK大阪－KBS釜山交流事業30周年記念特番。

『漫才祭り年末スペシャル2016』　G

12.28

ベテランから若手まで，今一番面白い関西の漫才師が大集合。芸能生活50年以上のベテランタレントを迎えるコーナーでは，坂田利夫，正司敏江，若井みどりの３人が，現役を続ける秘訣（ひけつ）について披露した。

『桂文枝の落語新世紀』　G

1. 4

本題に入る前に聴く者を落語の世界へといざなう独特の話芸「マクラ」に，若手噺家（はなしか）６人が挑戦する「マクラ対決」を実施。番組後半は桂文枝が創作落語「天国へのメロディー」を披露した。

『連続テレビ小説「べっぴんさん」ファン感謝祭～THE男会～』　G

1.29

NHK大阪ホールに集まったドラマの出演者たちが，ファンの前だからこそ語る役への思いや撮影秘話などを熱く披露したイベント連動番組。

『第47回NHK上方漫才コンテスト』　G

2.24

関西の若手の登竜門。厳しい予選を勝ち進んだ芸人６組が出場，審査ではスマホ，PC，データ放送による視聴者投票も実施した。優勝はゆりやんレトリィバァ。司会は千原兄弟と，淡路島出身のモデル・タレント朝比奈彩が務めた。NHK大阪ホールからの生放送。

『秘密の懺悔（ざんげ）鍋』　G

3.11

16年度に取り組んだ，近畿地方向け開発番組「おもラボ」シリーズの１本目。京都，大阪で街行く人々に熱々の鍋を振る舞い，胸につかえている他人には言えない“秘密”を打ち明けてもらうことで，秘密を巡る悲喜交々（こもごも）の人間ドラマを描くドキュメンタリー。

『ネコがみるみるテレビ』　G

3.18

「おもラボ」シリーズの２本目。NHKの現場一筋のベテラン・カメラマンが企画したのは，ネコを新たな視聴者としてターゲットにした“ネコが見る番組”。ネコ向けの番組を作るという架空の設定に，大真面目に取り組む制作者たちの葛藤をテーマにした異色のドキュメンタリー。

『球春！センバツ！甲子園！「注目の球児たち　関西特別号」』　G

3.18

第89回選抜高校野球大会に関西から出場する７校の出場校を訪ね，チームの魅力と球児たちの思いに迫った。

『関西UP！「STOP！人口流出　関西に住みまSHOW」』　G

3.27

関西経済の成長の鍵やアイデアを，専門家や市民が話し合うスタジオ討論番組。２回目となる今回は，関西の人口流出をテーマに，地域の具体的な取り組み事例を交えながら，関西で生き生きと働き暮らせる方法を多角的な視点で議論した。

『どらむでクッキング♪』　G

3.28

「おもラボ」シリーズの３本目。野菜の千切りから，フライパンの使い方，調味料の配合，火加減の調整まで，料理初心者が失敗しがちなポイントを，ドラムのリズムの概念を取り込みながら克服することを目指した異色料理番組。

（３）主な府県域番組

〔京都局〕

『Jazzないちにち』　FM
京都府域　10. 9
『京いちにち　年末ハイライト2016』　G
京都府域　12.27
〔神戸局〕
『新兵庫史を歩く』「湯のまちの伝説をたどる～有馬温泉～」「西播磨のつわもの　円心・圭介の里～上郡町～」　G
兵庫県域　6.18，11.19
『ひょうご安全の日　1.17のつどい』　G
兵庫県域　1.17
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』「兵庫県①～⑤」　G
兵庫県域　2.27～ 3. 7
〔和歌山局〕
『紀の国スペシャル』「BOSAI FASHION RUN-AWAY RUNWAY～楽しくそなえて楽しくおでかけ～」　G
和歌山県域　3. 5
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』「和歌山県①～⑤」　G
和歌山県域　3.14～15，17
『ラジオ防災講座①～⑫』　FM
和歌山県域（第１）金　※第10回のみ 1.28放送
〔奈良局〕
『秋元才加が行く！信貴山縁起絵巻のミステリー』　G
奈良県域　4.15，近畿ブロック　5. 2
『坪井清足さんをしのんで　Etv８「古都発掘40年」～ある考古学者の歩んだ道～』（E86.3.20）　G
奈良県域　5.30
『よみがえる春日大社～式年造替の記録～』（HV96.1.2）　G
近畿ブロック　10.23
『年末年始は奈良三昧♪』　G
奈良県域　12.17～12.18，12.23，12.25

年末年始特集編成期間に春日大社や東大寺など奈良を扱った番組が複数全国放送されることから，アーカイブスの中から関連した番組をセレクトして５本放送。12.17『歴史秘話ヒストリア「奈良　ここにシカない奇跡」』（G, 5.13），12.18『神々が降り立った森からのメッセージ～春日大社・祈りの記録～』（G，11.1.1），12.23『ブラタモリ「＃10　奈良」と「＃11　奈良の宝」』（G，15.6.27，15.7.4），12.25『東大寺～よみがえる仏の大宇宙～』（G，07.5.4）を編成し，特集番組のPRと地域放送サービスの充実を図った。

『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ奈良県①～④』　G
奈良県域　1.10～12，1.17
〔大津局〕
『おうみＩ』　FM
滋賀県域（第２・４）金
『子育て応援バラエティー・＃ママんざい』　G
滋賀県域　11. 6／近畿ブロック　3. 6
『「おうみＩ」スピンオフ（特別編）』　FM
滋賀県域　10. 2，2.11
『滋賀県ラジオ2017～その日のために　地震への備え～』　FM
滋賀県域　2.11
〔各局共通〕
『NHKのど自慢予選会』　G
「兵庫県」（2.13），「和歌山県」（7.17）
※「大阪府」「京都府」「奈良県」「滋賀県」は放送なし。
『天皇杯サッカー　関西各府県代表各県域決定戦ダイジェスト』　G
8.27
『第83回NHK全国学校音楽コンクール各府県コンクール』
大阪府域　FM／ 8.29～31
京都府域　FM／ 8.29～30
兵庫県域　FM／ 8.29～31
和歌山県域　FM／ 8.30
奈良県域　G／ 8.25，8.31，9. 1
滋賀県域　FM／ 8.29

３．スポーツ中継

全国放送では，プロ野球，社会人野球，Jリーグ，天皇杯サッカー，センバツ高校野球・全国高校野球選手権，全国高校駅伝，全国女子駅伝，びわ湖毎日マラソン，大相撲春場所，競馬，Bリーグ，学生柔道，甲子園ボウル，学生相撲選手権などをテレビ・ラジオで中継した。

地域放送では，プロ野球「阪神」対「広島」戦を中国ブロック（除く松江・鳥取）とのインターローカルで中継し，応援メッセージの投稿を呼び掛けるとともに，双方向連動データ放送を活用した“応援合戦”のサービスを実施した。

（１）高校野球

第98回全国高校野球選手権大会
〈県域放送〉

大阪大会	準決勝	G・R1・FM／ 7.30
	決勝	G・R1／ 7.31
京都大会	準決勝	G・FM／ 7.24

決勝　G・FM／ 7.25
兵庫大会　準決勝　FM／ 7.27
決勝　G／ 7.28
和歌山大会　準決勝　G／ 7.27
決勝　G／ 7.28
奈良大会　準決勝　G／ 7.27
決勝　G／ 7.28
滋賀大会　準決勝　G／ 7.25
決勝　G／ 7.27
第61回全国高校軟式野球選手権大会
決勝　近畿ブロック　R1／ 8.30
秋季近畿地区高校野球大会
〈近畿ブロック放送〉
準決勝　R1／11. 3
決勝　FM／11. 5
〈県域放送〉
京都大会　準決勝　FM／10. 8
決勝　FM／10. 9
兵庫大会　準決勝　FM／10. 1
決勝　FM／10. 2
奈良大会　準決勝　FM／10. 8
決勝　FM／10. 9
滋賀大会　準決勝　FM／10. 2

（２）プロ野球

〈近畿ブロック放送〉
「オリックス」対「楽天」　G／ 4.30
「阪神」対「広島」　G／ 5.20
「オリックス」対「DeNA」　G／ 6.11
「阪神」対「ソフトバンク」　G／ 6.17

（３）Jリーグ・天皇杯サッカー

〈近畿ブロック放送〉
J1「G大阪」対「新潟」　G／10.29
〈県域放送〉
J2「京都」対「横浜」　G京都／ 5.28
J2「京都」対「愛媛」　G京都・愛媛／11.12
J2「京都」対「山形」　G京都・山形／ 2.26
J1「神戸」対「仙台」　G神戸／ 4.24
天皇杯への道～関西各府県代表決定戦～
G近畿ブロック／ 8.27

（４）その他のスポーツ

第45回関西学生サッカー選手権　決勝
「大阪体育大」対「関西大」
E近畿ブロック／ 6. 5
関西大学ラグビー
「同志社」対「天理大」
E近畿ブロック／12. 3
全日本大学アメリカンフットボール選手権　西日本代表校決定戦
「関西学院」対「立命館」
E近畿ブロック／12. 4
プロバスケットボール　Bリーグ
「京都」対「栃木」　G京都・栃木／12.18
「奈良」対「山形」　G奈良・山形／ 1.28
「茨城」対「奈良」　G水戸・奈良／ 3. 4
「滋賀」対「愛知」　G滋賀／ 9.24
B2「西宮」対「FE名古屋」　G神戸／ 11.20

（特集番組）

リオ五輪関連地域特集
『はばたけ！リオへ～かんさい情熱のアスリートたち』G
近畿ブロック／ 7. 8
選抜高校野球開幕特集
『球春！センバツ！甲子園！「注目の球児たち関西特別号」』G
近畿ブロック／ 3.18

Ⅱ．技　術

１．番組制作

ドラマにおける新たな映像表現や，スーパーハイビジョンのコンテンツ制作など，最新の技術を用いた質の高い番組制作に加え，地域放送サービスの充実，迅速・的確な緊急報道など，視聴者本位の番組制作に取り組んだ。

（１）ドラマ番組

『連続テレビ小説』「べっぴんさん」では，大判カメラを使用して俳優陣の豊かな心情を表現するなど「別品」な世界観を創出した。『特集ドラマ』「喧騒の街，静かな海」では，主人公２人の心象を表現するために４K大判カメラを使用し，情緒あふれる深みのある映像設計を行った。

（２）一般番組

NHK大阪ホールから年間９本の『うたコン』を，番組テーマに沿った中継も交えながら全国に届けた。『わが心の大阪メロディー』では，新世界，鶴橋，道頓堀からの中継も交え，大阪ならではの番組制作を行うとともに，新たな取り組みとして副音声でのウラトークも実施した。

（３）スポーツ中継

「全国高校駅伝」（12月），「女子駅伝」（１月），「びわ湖毎日マラソン」（３月）において，高画質映像と5.1chサラウンド音声による迫力と臨場感あふれる放送を行った。16年度より700MHz帯周波数再編に伴う新周波数帯の伝送機器を使用したが，入念な準備の下，完璧な電波伝搬を実現し

た。また，「春夏･高校野球」や「大相撲春場所」「プロ野球」「サッカー」などの中継放送を実施した。

（４）地域番組

『かんさい熱視線』『ルソンの壺』，さらに『じもてぃ愛情マップ　みんな　すきやねん』など，多様な地域番組を制作・送出した。

（５）スーパーハイビジョン

８月から試験放送が始まったスーパーハイビジョンでは，「うたコン」「大相撲春場所」「選抜高校野球」において超高精細映像・22.2ch立体音響による臨場感あふれるコンテンツを８Kで制作した。また，『歴史秘話ヒストリア　スペシャル』では４K制作を行った。

（６）デジタルサービス

番組の接触率を上げるため，放送に加えて「インターネット」のサービスを展開した。全国高校駅伝（女子・男子）では，時々刻々と変わる順位情報などをデータ放送やPCおよびスマートフォン向けに提供し，多角的に情報を伝えた。また，VOD動画として，PCとスマートフォン向けに配信した。

16年度は，さらに複数のカメラ映像を同時にライブストリーミングで配信するサービスを実施した（びわ湖毎日マラソンを含む）。『バリバラ』や『NHK上方漫才コンテスト』および，『30秒芸人』では，視聴者がデータ放送やスマートフォンから投票を行う視聴者参加型の双方向番組を制作した。また，『プロ野球』（G近畿・広島，5.20　G近畿，6.17）では，ツイッターで寄せられたコメントをデータ放送で表示するコンテンツを使用し，応援合戦を盛り上げた。

独立型コンテンツでは，大阪局が展開している「STOP！危ない自転車」キャンペーンの一環として，データ放送で子供をターゲットに交通ルールに関するクイズやゲームのコンテンツを制作した。

（７）選挙放送・緊急報道

第24回参議院議員選挙では，６月27日から７月７日にかけてテレビ・ラジオで政見経歴放送を，７月10日の投開票日には総合テレビとラジオ第１のほかデータ放送やインターネットも活用して開票速報を伝えた。

近畿２府４県の選挙区・政見経歴放送は，すべて大阪局から送出し，テレビ・ラジオ合わせて67回の放送枠をミスなく送出した。

10日の開票速報では，午後８時の投票終了直前から翌朝の『おはよう日本』まで，本部や域内各局とも連携しながら，刻々と変化する状況を切れ目なく伝えた。毎正時前の５分ないし10分は指定ローカル枠として，きめ細かい速報を伝えた。

ニュース・緊急報道では，「和歌山市内発砲立てこもり事件」（8.29），「門真市親子殺傷事件」（10.19），「堺市４歳児行方不明事件」（11.4），「森友学園に纏（まつ）わる一連の疑惑報道」（３月）など全国が注目する近畿圏のニュースを，ヘリコプターやCSK，IP機器など取材伝送機材を駆使して，いち早く確実に伝えた。

また，４月14～15日の震度７を始めとする一連の熊本地震や，10月21日の鳥取地震では，いち早く大阪局より要員や中継車を現地に派遣して，災害報道にあたった。さらに，12月のプーチン大統領の訪日・山口訪問では，機動性に優れたCS伝送機材を活用して，日ロ首脳会談のもようを現地から伝えた。

２．視聴者とのふれあい（CS活動）

10月29～30日の「BKワンダーランド」では，カメラ操作体験やスーパーハイビジョンなどを展示し，最新の放送技術を体験できるよう工夫した。

９月から11月には，小学５年生を対象にした「出前授業」を開催した。大阪府内の７校402人の参加があり，放送局の仕事についての理解促進に努めた。

近畿各地で行われた，『NHKのど自慢予選会』では，時差再生や中継車公開などによるCS活動を実施し，番組と連動した視聴者サービスに努めた。

３．設備

（１）放送網の非常災害対策と安定運用に向けた取り組み

大規模災害に備え放送網の非常災害対策および機能強化を図った。また，各種設備の高信頼化や更新により放送設備の安定運用に努めた。

①放送所の自家発電装置用燃料タンクの容量増強を行い，自家発電装置の稼働時間を約２倍（約200時間）とした（京都・舞鶴TV，神戸・城崎TV）。

②テレビ中継送信機の２台化整備を行い（京都・丹波TV，神戸・一宮安積TV，和歌山・那智勝浦TV），地上デジタル放送設備の信頼性を向上した。

③設備の安定運用のためラジオ第１送信所（大阪・美原R）の送信設備の更新工事を進め，自家発局舎の整備と自家発電装置の更新，受配電盤の更新・整備を行った。さらに，テレビ基幹

局固定回線設備を更新し（和歌山・木ノ本TV），TV中継送信機を更新した（神戸・神戸DE，大津・彦根TV）。

④安定電波確保のため老朽化したFM中継送信機（大阪・中能勢FMほかFM中継放送所２局所）およびFM送信空中線（奈良・松尾山FMほかFM中継放送所３局所）を更新した。

⑤樹木の影響を受けて放送波中継の親局受信信号の品質が低下するおそれがあった中継局で親局変更の整備を行い，放送ネットワークの安定度向上を図った（奈良・生駒あすか野TV）。

⑥ラジオ中継局への有線回線による番組伝送が途切れた場合に備え，既に整備していたIP回線による番組伝送系統に自動切り換えする装置を整備し，放送ネットワークの高信頼化を図った（京都・福知山RほかR中継放送所５局所）。

⑦ラジオ第１放送の聴取が困難だった兵庫県新温泉町にラジオ中継放送所を17年度に設置する計画を決定し，着工した（神戸・新温泉R）。

（２）NHK共同受信施設の安定運用に向けた取り組み

16年度は，NHK共同受信施設の老朽化に伴う大規模改修工事（光化）29施設，小規模改修工事（部分補修）８施設を実施した。

また，引き下ろしケーブル等の老朽化が著しい４施設について，一部を光ファイバーによって光化する大規模設備変更工事を実施した。

雷害による設備障害を軽減するため，５施設で高速避雷器等の設置工事を実施した。

（３）番組制作・送出設備の整備

スーパーハイビジョン試験放送の受信公開のためSHV受信機器を整備した。番組制作設備となる大阪局の小型中継車やラジオ第２スタジオ設備を更新した。また，17年５月に運用開始予定のテレビ第２スタジオ設備更新に着手した。

15年度にファイルベース化の本格整備を行ったニュース送出設備は16年度初めから大阪・近畿域内にて運用訓練を行い，順次運用を開始した。

電源・空調設備として，大阪局電力監視装置の更新，大阪局会館UPSのA系蓄電池更新，奈良局UPS２号の更新，大阪局空調監視システムの更新，大阪局個別空調機の更新，大阪局暖房ボイラーの更新等を実施した。

（４）災害・緊急報道対応設備の整備

大阪・近畿域内にIP伝送用中継設備を整備，大阪三国山FPU基地局の更新，京都小塩山FPU基地局の更新等を行った。

局外に設置している天気カメラは，京都福知山と和歌山すさみ町にロボカメを整備，奈良会館と神戸三宮ロボカメの更新を実施した。

（５）放送会館の建て替え

大津放送会館の建て替えについて，これまでに策定した整備方針・整備概要を踏まえて，16年４月に設計業者を決定し，17年９月の建物工事着工に向けて，基本設計・実施設計の検討を行った。

奈良放送会館の建て替えについて，整備方針・整備概要を策定し，これを踏まえて17年２月に設計・施工業者を決定した。18年４月の建物工事着工に向けて，基本設計の検討を行った。

Ⅲ．視聴者

１．広　報

〔大阪局〕

（１）経営広報・番組広報

毎月１回，関西放送記者会加盟18社を対象に局長定例会見を開催し，大阪局や域内各局の番組・イベントなど幅広い事業内容を広報した。

また，『連続テレビ小説』「べっぴんさん」（10.3～4.3）をはじめ，『ドラマ10』「コピーフェイス」（11.18～12.23），『土曜ドラマ』「スクラップ・アンド・ビルド」（12.17），大阪発地域ドラマ『アオゾラカット』（BSP，3.15），放送時間とキャスターが一新した『歴史秘話ヒストリア』（4.22～），メディアで話題となった『バリバラ』などの取材会・試写会を計60回開催した。「べっぴんさん」では，地域活性化に寄与するため，舞台地・神戸の自治体，企業，団体で構成する推進協議会と連携し，市営バスと観光バス５台のフルラッピング（10.3～5.7），べっぴんさん展（10.1～5.7），「べっぴんな」ジャズを神戸から！（3.18～3.20）などのイベントを開催した。また，神戸まつり（5.16），神戸マラソン（11.20）など地域イベントへの出演者派遣も計６回行った。16年度も現役世代への遡及（そきゅう）を狙ったSNS展開をさらに拡充。地方局初の公式Facebookを開始（4.1～）。「べっぴんさん」では大阪局制作『連続テレビ小説』で初めての公式Instagramをスタート。LINEと合わせ16万もの支持を獲得した。また，『大河ドラマ』「真田丸」のご当地サイト（15年12.22～17年1.31）も立ち上げ，番組PRを行った。

（２）視聴者広報

①災害への対応

大阪局は，南海トラフの巨大地震などの大規模災害に備えて，非常災害時緊急放送の受信公開に

ついて阪急電鉄と覚書を交わした。この受信公開は，大地震や台風などの大規模な災害が起きた場合に阪急電鉄が梅田駅周辺の通路などに設けた大型画面を適宜切り替え，NHKの緊急放送を流すもので，３か所で運用を開始した。

②視聴者向けイベント

スーパーハイビジョンの試験放送開始に合わせてアトリウムにセットを設け，「リオデジャネイロオリンピック」や「高校野球」「大相撲」の受信公開を行い１万5,910人の視聴者が参加した（8.1～22）。以降は，大阪局の視聴者見学コース「BKプラザ」に，８Kの専用コーナーを設けたほか，関西各局で制作した番組を公開するために大阪局独自に４K専用のモニターを設置した。

「ぼくの絵わたしの絵」展（BKなつ祭，8.4～14）には３万9,000人が来場した。『連続テレビ小説』「べっぴんさん」の終盤の放送に合わせ，セット公開を実施した（3.13～22）。収録で使用した商店街などのセットをアトリウムに建て込み，小道具・衣装なども展示した。同時に出演者へのメッセージコーナーや春からの大阪局の番組紹介コーナーを設けた。期間中およそ４万人が来場した。

大阪局の視聴者見学コース「BKプラザ」は，16年度に39万人余りが訪れ，９月には累計入場者600万人を達成した。BKプラザスタジオ（公開番組スタジオ）では「あなたもキャスター☆君もカメラマン！」や「3Dハイビジョン映像体験」などの体験見学を定期的に開催したほか，イベントに合わせてワークショップを開くなど，子どもや家族が楽しめる催しを行った。

大阪局が独自の取り組みとして毎年行っている大阪市内の中学生を対象にした職場体験学習は，16年度に過去最高の46校167人が参加し，リポートや撮影・音声など番組制作の基礎を学習した。

16年度に大阪局へ寄せられた視聴者意向件数は，電話・手紙・来局・メールなど合わせておよそ10万5,000件であった。

〔京都局〕

15年２月に京都市の中心部に新たな情報発信・文化拠点として移転した放送会館は，２年間で来場者22万人を超えた。220インチ大型マルチモニターを常設する視聴者公開スペースでは，年間を通して公開収録やイベントを実施した。『ニュース630　京いちにち』のコーナー「京都思い出シアター」やFM音楽番組『Jazzないちにち』などの京都府域向け番組から，『アニソン・アカデミー』などの全国放送番組まで，さまざまな番組の公開収録を行い幅広い層の来場者を集めた。また，祇園祭開催期間の７月は月間来場者数１万8,000人，リオ五輪と全国高等学校野球選手権大会が開催された８月は１万4,000人に及んだ。８月からは４K･８K試験放送が始まり，『第67回NHK紅白歌合戦』『大相撲中継』の受信公開時にはスポットを放送するなど積極的な広報活動を行った。その他，『スペシャルライブ！京都 五山送り火』や『第35回全国都道府県対抗女子駅伝』『Jリーグ中継 京都サンガ戦』など地域に根ざしたイベントでは中継のパブリックビューイングを実施した。

〔神戸局〕

神戸局では「あの日を胸に未来へ～阪神・淡路大震災22年」のサイトを公開し，関連番組の紹介と共に震災当時の被害を物語る「震災遺構」のミニ番組を動画で掲載することで震災の経験や教訓を広く発信した。

神戸が舞台の『連続テレビ小説』「べっぴんさん」に関しては地元自治体を中心に推進協議会が設立され，“出演者のトークショーを実施したい”といった依頼が多く寄せられるなど放送前から盛り上がりを見せた。神戸局では，５月に神戸で最大の祭り「神戸まつり」にヒロインを演じる芳根京子さんがパレードに参加し，併せて特設ブース出展を行って早い段階から周知広報活動を展開した。このほか，12月に行った『土曜スタジオパーク』の公開生放送にはヒロインなど４人の出演者がトークを繰り広げたほか，「特別展　古代ギリシャ」の開会式にもヒロインに好意を寄せる役を演じる松下優也さんが登場するなど，ドラマの出演者が神戸市内での催しに参加し，地元を盛り上げた。また，神戸放送会館では「べっぴんさん」オープニング映像の印象的な５つのシーンのバナー展示（横2.4m×縦1.35m）や，ドラマのパネル展示を行った。

神戸局ではスーパーハイビジョン試験放送の受信公開スペースをシアターとして整備し，リオデジャネイロオリンピックの中継をはじめ，大相撲中継などにおいても臨場感あふれる映像や音声を楽しめるようにした。「特別展　古代ギリシャ」の会場でも２か月以上にわたって８K映像で展示品の紹介VTRを上映した。

このほか，神戸局独自で８KやVRなど最新技術を駆使した撮影を行い，ニュース番組やNHKオンライン「VRNEWS」サイトなどに展開した。

〔和歌山局〕

年度前半においては，和歌山県九度山町が舞台の一つとなった，『大河ドラマ』「真田丸」の放送，

イベントを通じた番組広報を重点的に展開した。

『あすのWA！』では，ドラマの見どころや本筋に隠された意外な側面を伝えるコーナー「見やんと！真田丸」を新設し，放送に加えて，ネット配信を行い，大きな反響を呼んだ。出演者によるトークショーやパネル展などのイベントも数多く実施し，多岐にわたる番組広報に取り組んだ。

また，16年度は昭和南海地震から70年，紀伊半島豪雨から５年となる節目の年であった。和歌山局では大規模な地震，災害において「一人の犠牲者も出さない」ことを目指す「守るプロジェクト」に引き続き重点を置き，防災・減災に関する取り組みをテレビ，音声波，イベントと多角的に展開した。『あすのWA！』の防災コーナーの充実に加え，ラジオ防災特番，「防災サバイバル」「Let's Study BOSAI」「NHK BOSAI体操」の継続実施のほか，新規に防災をテーマにしたファッションショー「BOSAI FASHION RUN-AWAY RUNWAY」を実施した。県内の幅広い層を対象にした防災意識啓発に局を挙げて取り組み，地域に根ざした放送局としてのステーションイメージを高めた。

〔奈良局〕

17年に開局80年を迎えることから「もうすぐ80年！NHK奈良わくわくステーション」と銘打って９月17～18日の２日間，会館公開を開催した。駐車スペースに特設したステージではラジオ公開生放送『文芸選評』『歌の日曜散歩』や「ワンワンとあそぼうショー」「どーもくんの環境ステージ」などを実施した。館内では『大河ドラマ』「真田丸」展，ニュースキャスター体験を始め，「Let's天才てれびくん」のフォトステーションやデータ放送ゲーム体験などを実施し，来場者は3,000人を超えた。ホームページでは「ならナビ」の動画やブログなど日々更新したほか，８月と12月にトップページを，11月にはキャスター・アナウンサーの紹介ページを一新。アクセスも順調に伸び，１日当たりの訪問者数の累計では15年度を２万5,000人上回った。

８K試験放送開始に向けて４月に会館１階集会室をスーパーハイビジョンシアターとして整備。五輪や大相撲期間中は休日も開館して対応した。また，独自に８K再生機も整備し，希望者に奈良局制作の「吉野の桜　祈りと再生の物語」など奈良関連のコンテンツを独自に再生するサービスも実施した。

17年３月からは開局80年のキャンペーン企画もスタート。「まほろばドキドキ伝えたい」をキャッチフレーズに，ポスターや会館の壁面広告，特設ホームページを制作したほか，県内全39市町村を巡って「わたしのたからもの」をテーマに30秒スポットを制作，平日の毎日放送するなど，開局日にあたる９月16日に向け機運の盛り上げを図っている。

〔大津局〕

16年度の目標は「もっと　しが！！応援宣言」，県民の命と暮らしを守り，滋賀のために役立つとともに，県民に親しまれ信頼されることの３つを掲げ，南海トラフ巨大地震や局地的な豪雨災害に備える防災・減災情報を発信した。また，県域放送『おうみ発630』は，人口減少の局面に入った滋賀県の課題を多角的に取材して分かりやすく伝え，課題に向き合い活躍する人や，産業や企業の生き残りをかけた取り組みなど幅広い視点から発信する年間キャンペーン「しが！！応援宣言」を15年度に引き続いて実施し，『おうみ発630』にキャンペーンコーナーを設けて，地域の活性化に貢献した。

キャンペーンの一環としてイベント「#ママんざい」を10月に草津市で実施し，県内から寄せられた“子育ての悩み”を基に作られた漫才=「ママんざい」を披露。子育て世代に対し，漫才という親しみやすい切り口で接触機会を創出し，子育て中の30～40代の参加を促すため，大津局として初めてとなる大規模な託児室を会場に設けて，「子育て応援」の姿勢を打ち出すなど，イベント参加者から好評が得られた。このイベントのもようは県域特別番組として放送し，『おうみ発630』で「子育て応援WEEK」と銘打ちコーナーで放送するなど，地元放送局としての存在感を高めた。

また，滋賀県内の民放FM４局と共同して，災害への備えや防災意識を高める特集番組『防災ラジオ滋賀2017～その日のために地震への備え』を制作し，２月に県域FM放送で放送した。番組では，滋賀県立大学教授をゲストに招き，いつ起きてもおかしくない琵琶湖西岸断層帯地震に対して，日頃から防災意識を高めておくことが大切だと伝えた。そのほか，滋賀県内各地の防災の取り組みを紹介するとともに，16年初の試みとして京都新聞の記者が出演し，災害時のラジオと新聞の役割を伝えることで，さまざまな角度から滋賀県民の防災意識の啓発に努めた。

２．イベント事業

16年度，近畿ブロックでは，265件のイベントを実施し，視聴者との結び付きの強化に努めた結

果，15年度より5,900人多い168万8,246人の視聴者が参加した。

大阪局では，後期の『連続テレビ小説』「べっぴんさん」に連動した会館公開イベントや16年『大河ドラマ』「真田丸」に関連したイベント「いざ！大阪の陣 WE LOVE SANADA」（10.9）等を展開した。

また，公共放送ならでは防災キャンペーンイベントとして「NHK防災サバイバル」等を大阪・和歌山で開催した。その他，８Kスーパーハイビジョンによるパブリックビューイング「リオデジャネイロオリンピック」や「NHK紅白歌合戦」「大相撲春場所」をグランフロント大阪で実施し，計6,879人が参加した。

（１）全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『うたコン』『新・BS日本のうた』『ザ少年倶楽部』『わが心の大阪メロディー』『上方演芸会』など，テレビ･ラジオ番組77本を，NHK大阪ホールや近畿各地で実施した。

（２）展覧会

「特別展 生命大躍進－脊椎動物のたどった道」（4.16～6.19，大阪市立自然史博物館），「特別展 始皇帝と大兵馬俑」（7.5～10.2，国立国際美術館），「ボストン美術館ヴェネチア展」（6.25～8.28，佐川美術館），「バーナード･リーチ展」（7.9～9.25，滋賀県立近代美術館），「生誕130周年 藤田嗣治展」（7.16～9.22，兵庫県立美術館），「NHK大河ドラマ特別展真田丸」（9.17～11.6，大阪歴史博物館），「メアリー・カサット展」（9.27～12.4，京都国立近代美術館），「松方コレクション展」（9.17～11.27，神戸市博物館），「第63回日本伝統工芸展」（10.12～17，京都髙島屋　17.2.16～20，なんば髙島屋），「樂－茶碗の中の宇宙展－」（12.17～2.12，京都国立近代美術館），「特別展 古代ギリシャ」（12.23～17.4.2，神戸市博物館）などを実施した。

（３）教育・子どもイベント

「第63回NHK全国高校放送コンテスト近畿各府県大会」「第33回NHK杯全国中学校放送コンテスト近畿各府県大会」「第83回NHK全国学校音楽コンクール近畿各府県コンクール」および「同近畿ブロックコンクール」を６月から９月に，「キミが主役だ！NHK放送体験クラブ」を年間通して，近畿各府県で実施した。幼児とその保護者を対象にした「いないないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（5.7～８，NHK大阪ホール），「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（12.23～25）なども実施した。

３．営　業

３か年経営計画の２年目となる16年度において，近畿ブロックでは，地域スタッフの精鋭化，法人委託の拡大，職員による事業所対策，民事手続きの着実な実施等の営業改革に，引き続き取り組んだ。

法人委託の拡大に関しては，既存事業者の育成と地域拡大に努めるとともに，民間調査会社のデータを活用して新規事業者の開発も行った。この結果，公開競争入札実施地域は21地区，エリア型法人に関しては34地区となり，法人委託と地域スタッフの取り次ぎのシェアも，法人委託が地域スタッフを50ポイント上回ることとなった。事業所増加に関しては，職員を中心とした活動を継続し，目標を大きく上回る２万7,000件を超える増加数を残すことができた。

上記の活動の結果，16年度はブロック合計で７年連続となる全営業諸目標を達成した。

中　　国

◇台風16号関連（９月），鳥取県中部地震（10.21，震度６弱），大雪被害（１・２月）などの災害に相次いで見舞われたが，迅速・的確に対応した。また，島根原発関連では，新たにIPロボットカメラの運用を開始。原発事故を想定したBCPを継続的に見直し，取材体制と放送機能の強化を図った。

◇米・オバマ大統領の広島訪問（5.27），山口県長門市での日ロ首脳会談（12.15～16）では中国地方から全国･世界へ情報を発信。また，「広島カープ」の25年ぶりリーグ優勝決定戦を生中継した。優勝パレードは民放と共同で中継し，ウェブ配信，パブリックビューイングなど多彩に展開した。

◇周年事業（鳥取･山口）や地域発ドラマ（広島･山口）に全局を挙げて取り組んだ。また，年間を通じた「ターゲット80」を粘り強く展開して業績を確保し，中国ブロックとして５年連続の全営業目標達成につなげた。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

（１）災害・大規模報道への取り組み

広島県福山市を中心に大きな被害の生じた大雨（６月）や台風16号とその後の大雨（９月），鳥取県中部を震源とする地震（10月），中国地方の大雪（１・２月）などの災害にあたり，中国ブロック・県域で特設ニュースを放送したほか，文字情報（L字画面）も積極的に活用して交通情報などの生活情報も詳しく伝えた。

参議院議員選挙（7.10投開票）では，正確かつきめ細かい報道に万全を期すとともに，選挙権が18歳以上に拡大された影響についても地域のニュースや開票速報の中で詳しく伝えた。今回から合区された鳥取県および島根県選挙区については鳥取局・松江局が事前準備から連携して伝えた。

米・オバマ大統領の広島訪問（5.27），山口県長門市で開かれた日ロ首脳会談（12.15～16）では，中国地方の各放送局が共同して当日の動きや地元の受け止め方など全国ニュースや中国ブロックのニュースで詳しく伝えた。

また，16年度も防災・減災に資する放送に各局とも取り組んだ。広島局では大雨シーズンを控えた６月にR1で「防災キャンペーン」を展開。災害時の留意点や日常の備えについて定時番組やインフォメーション枠の中で伝えるとともに，インターネット上でも聴けるようにした。

８月には16年度新設した『中国！ちゅーもく！ラジオ』枠内で防災特集を放送（8.26）。中国地方の地震の備えについて検証した。10月に発生した鳥取県中部を震源とする地震では，鳥取局は地震の被害や生活情報と共にその復興についても詳しく伝えた。山口局では『防災ラジオ特集「いざという時、NHKラジオ」～あらゆる災害から命を守る～』を６月にR1とFMで５日間にわたって放送した。

データ放送では，広島局に続いて岡山局と鳥取局が土砂災害危険度情報の提供を開始した。

（２）核・平和関連の取り組み

16年５月，米・オバマ大統領が現職の大統領として初めて被爆地・広島を訪問したことで，改めて日本全国や世界の被爆や平和への関心が高まった歴史的な１年となった。この機会を捉え，年間を通してドキュメンタリー，ドラマ，音楽など多彩な番組を編成し，被爆地・広島の思い，被爆体験の記録と次世代への継承，広島を訪れる外国人の思いなどを発信した。

オバマ大統領広島訪問で当日の動きを全国や地域のニュースで手厚く伝えたほか，『お好みワイドひろしま』や『オバマ大統領広島訪問　被爆地ヒロシマの思い』（5.27）などの番組で，被爆者をはじめ，さまざまな世代の声を取り上げるなど大統領を迎える広島の様子を詳しく伝えた。

７・８月には“まだ知らないことがある　もっと伝えたいことがある”をテーマに多様な番組を編成し，さまざまな視聴者が改めて被爆や平和について考えるきっかけとした。『NHKスペシャル』「決断なき原爆投下～米大統領　71年目の真実～」（8.6）は，新たに発見した資料を基に原爆投下に至る知られざる真実を明らかにした。『広島原爆の日ラジオ特集「あの日母は少女だった～被爆の記憶をたどる母と息子の対話～」』（8.6）は，被爆から71年にしてようやく自らの体験を語り始めた母と息子のドキュメントに俳優による朗読を交えて被爆者の思い，体験の継承について伝え，文化庁芸術祭のラジオ・ドキュメンタリー部門で大賞を受賞した。『ヒロシマ8.6ドラマ』「ふろたき大将　故郷に帰る」（7.1）は，原爆孤児を主人公にした1954年公開の映画を下敷きに，66年後の主人公の老人と生き方に悩む若者たちの交流を描いた。９回目となる『いのちのうた2016』

（8.26）は，幅広い世代の歌手たちがそれぞれの平和のメッセージを歌に込めて届けた。『にっぽん紀行』「それからの人生を聴かせてください～広島　ネオン街の語り部会～」（8.24）は，広島の歓楽街で毎月被爆者による語り部会を開催している若者の取り組みを伝えた。ホームページでは，16年度も被爆71年サイトを英，仏，中，西，露の５言語でも閲覧できるようにした。

秋以降，広島を訪れる外国人が近年増加している理由に迫った『フェイス』「フロム・アメリカ～彼らがヒロシマで見つけたもの～」（10.14）や，新たな戦争の伝え方について考えた『クローズアップ現代＋』「“この世界の片隅に”時代を超える平和への祈り」（1.12）なども放送した。

（３）地域放送

金曜午後７～８時台は，地域のさまざまな動向をタイムリーに捉えた特集や，中国地方の放送局が制作したドラマと関連して地域の魅力やドラマの見どころを紹介する番組のほか，中国地方各地の知られざる魅力や価値を発掘するシリーズ『勝手にブランド発見伝』を展開した。

平日午後６時台は，各県域の基幹ニュース番組として，地域に密着した情報を提供して視聴者の関心に応えた。松江局の人口減少や岡山局の“隠れ待機児童”など，各地域の課題について継続的に取り上げ，その成果を番組として発信することにも取り組んだ。いざという時のためにデータ放送を身近に感じてもらうため，広島局と鳥取局に加え，岡山局も双方向連動データ放送による気象クイズを開始した。

平日午前11時台は，生活情報番組『ひるまえ直送便』を引き続き中国ブロックで放送。各放送局とのネットワークを生かし，各地の旬な話題や暮らしに役立つ情報を提供した。

R1の午後５時台に月～木曜は広島県域向けに『ひろしま　コイらじ』を，金曜は中国ブロック向けに『中国！ちゅーもく！ラジオ』を新設。地域の魅力や地元に密着した情報を伝えた。９月からはインターネットラジオ「らじる★らじる」で広島県の放送の配信が始まり，特集番組を放送するなど利用促進にも力を入れた。

（４）その他

プロ野球「広島カープ」は25年ぶりにセントラルリーグ優勝を果たした。優勝を決めた９月10日の「巨人」対「広島」を全国放送で中継したことに加え，広島局では前日に特集番組，当日も中継に先立ち「広島カープ」関連番組をアンコール編成した。さらに深夜には優勝特別番組『カープ25年ぶりの優勝！』（9.10）を急きょ放送した。また，初優勝以来41年ぶりに実施された優勝パレードを中国ブロック向けに生中継（11.6）し，インターネットでも同時提供した。

広島局は，伝統芸能・神楽に取り組む高校生たちを描いた広島発地域ドラマ『舞え！KAGURA姫』を制作。関連番組も複数制作した。岡山局はふるさとの自然や営みの４K撮影に積極的に取り組み，夕方のニュース番組や複数のミニ番組シリーズに展開した。松江局では，人口減少やJR三江線廃止などの地域の課題に継続して取り組んだ。人口減少について『NHKスペシャル』「縮小ニッポンの衝撃」（9.25）として全国に発信した。鳥取局では，開局80年の取り組みとして地域の課題を考える討論番組『Brains』を３回放送したほか，イベントと連動した『聞こえるよ！大山のメロディー』（11.3）や地域の歴史をアーカイブス映像で振り返る『あの日の記憶特別編』を放送するなどした。山口局は，山口出身の詩人・中原中也の詩の世界をモチーフにした山口発地域ドラマ『朗読屋』を制作。関連番組も制作した。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『NHKニュース　おはよう○○（県名）』　G

月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.5／県域／県内のニュースやきょうの動き，気象情報に加え，各地の話題や課題などを中継やリポートで伝えるニュース・情報番組。

『NHKニュース　おはようちゅうごく』　G

土　7:30～ 8:00

第１回93.4.10／中国ブロック・一部県域／中国５県の朝の表情を伝える中継やリポート，週末のイベント情報や生活情報，そして「西日本の旅」など，多彩な内容のニュース・情報番組。

『ひるまえ直送便』（広島局）　G

月～金　11:30～12:00

第１回14.4.2／中国ブロック・一部県域／日々の暮らしに役立つ情報や，地域の魅力を再発見できる話題を伝える情報番組。地域で活躍する人物へのインタビュー，リポーターが各地を旅する「ぶっつけ本番口コミ旅」，視聴者参加の「川柳」コーナーなど，多彩な内容で放送。

『お好みワイドひろしま』（広島局）　G

月～金　18:10～18:59

第１回84.4.2／県域／広島県内のニュースを分かりやすく伝える情報番組。米・オバマ大統領広島訪問に際して放送したシリーズ「オバマ大統領

へのメッセージ」をはじめ，被爆者の思い，核兵器廃絶を求めるヒロシマ，ナガサキ，世界の動きについて年間を通じて伝えた。また，シリーズ「働き方新時代」では県内外の動きを取り上げた。そのほか，「広島カープ」の注目選手へのインタビュー「鯉（カープ）に聞いてコイ」を放送した。また，双方向システムを利用した地域紹介コーナー「みっけ！！」や「気象クイズ・まるてん！」を引き続き実施した。字幕放送。／各局タイトル：岡山『もぎたて！』，松江『しまねっとNEWS610』，鳥取『いちおしNEWSとっとり』，山口『情報維新！やまぐち』

『ひろしまニュース845』（広島局）　G

月～金　20:45～21:00

第１回96.4.1／県域／県内の１日の出来事をコンパクトにまとめて伝えるニュース番組。／各局タイトル：岡山『岡山ニュース845』，松江『しまねっと845』，鳥取『とっとりニュース845』，山口『情報維新！やまぐち845』

『フェイス』　G　　金　19:30～19:58

第１回11.4.1／中国ブロック／地域おこしや人口減少などの地域の課題・平和・人・文化・スポーツなど，多様なテーマについて取材し，掘り下げて伝えることで視聴者の疑問や関心に応える番組。

『勝手にブランド発見伝』　G

金　19:30～20:43

第１回15.11.6／中国ブロック／年４回／名所・名物が無かったり，良いものがあっても売り出し方に悩んでいる中国地方の各地を取り上げ，地域の知られざる魅力や価値を発掘する地域活性化番組。

『現場に立つ』　G　　金　19:30～19:58

第１回11.4.3／岡山県域／年２回／いま，岡山で何が起きているのか。俳優・山口馬木也さんをナビゲーターに，さまざまな現場の臨場感や人物の実像を捉えるドキュメンタリー。（第２回は中国ブロックで放送）

『島根スペシャル』　G　　金　19:30～19:58ほか

第１回14.4.18／島根県域／年８回／地域社会が抱えるさまざまな課題や郷土の奥深い文化・歴史など，多様なテーマを自由な演出で放送し，島根に暮らす人々の関心に応える番組。

『YAMAGUTIC』　G　　金　19:30～19:58ほか

第１回08.4.11／山口県域／年６回／“地域を見つめる”“時代と向き合う”“未来を展望する”の３つのテーマを軸に，地域の課題に向き合い，地域の魅力を発掘する番組。

『NHK中国地方放送番組審議会』　G　　随時

第１回97.11.16／中国ブロック／番組審議会の審議内容を伝える番組。

『おはよう中国』　R1

月～金　7:40～ 7:58
土　7:40～ 8:00

第１回89.4.3／中国ブロック／気象・交通など朝に欠かせない情報やニュース，旬の人や時の話題の電話インタビューで構成。

『ひろしま　コイらじ』　新　R1

月～木　17:00～17:55（大相撲期間を除く）

第１回16.4.4／広島県域／広島で頑張る若者の活動や「広島カープ」やエンターテインメント情報など地元に根ざした情報を伝える番組。

『中国！ちゅーもく！ラジオ』　新　R1

金　17:00～17:55（大相撲期間を除く）

第１回16.4.8／中国ブロック／中国地方の各放送局が制作した各地の魅力を伝える番組を中国地方全域に向けて生放送する番組。

（主なラインアップ）

『広島アーティスト三昧』　（広島局）
『岡山ラジオ・おからじ！』　（岡山局）
『まるっと☆しまね』　（松江局）
『やしろ荘でごにょごにょ』　（鳥取局）
『ラジオYAMAGUTIC』　（山口局）
『中国地方　戦争・平和インタビュー』　（各局）
『中国地方　人権インタビュー』　（各局）

（２）特集番組（核・平和関連番組を除く）

〔中国ブロック〕

『汽笛の鳴る町～SL沿線物語～』　G

広島局／ 5.22／13:05～13:48

『山口・柳井発！うた自慢』　G

広島局／ 6.11／10:05～11:18

『山陰の海に生きる』　G

鳥取局／ 6.19／13:05～13:48

『癒えない傷を抱きしめて～“自死遺族”支える母ちゃん弁護士～』　G

広島局／ 7.23／10:55～11:23

『広響コンサート』　FM

「第362回定期演奏会」
広島局／ 7.31／14:00～15:55

「第368回定期演奏会」
広島局／ 3.31／ 7:25～ 9:20

『KAGURA高校生の熱い夏～密着！神楽甲子園～』　G　　広島局／ 9. 2／19:30～19:58

『現場に立つ』　G
「『細雪』を“書いた”女」
岡山局／ 9. 9／19:32～20:00
『HAPPY！100歳』　G
広島局／ 9.19／14:15～14:58
『第83回NHK全国学校音楽コンクール　中国ブロックコンクール』　E
広島局／ 9.24／14:00～16:45
『KAGURA』　G
広島局／11. 4／19:30～19:58
『赤に染めた2016　生中継　カープ優勝パレード』　G　広島局／11. 5／10:05～11:20
『ULTRA神楽～魅力再発見！ひろしま神楽～』
広島局／11. 6／13:05～13:35
『アイデア対決　全国高等専門学校ロボットコンテスト2016　中国地区大会』　G
広島局／11.13／11:00～11:54
『カープに恋して涙して～応援団「緋鯉（ひごい）会」の熱き男たち～』　G
広島局／12. 2／20:00～20:43
『ひるまえ直送便　クリスマススペシャル～３シェフが彩るクリスマス料理の饗宴（きょうえん）～』　G
広島局／12.21／11:05～11:52
『山口発地域ドラマ　放送直前スペシャル』　G
「中原中也と『朗読屋』～ことばの源流を訪ねて～」　山口局／ 1.13／20:00～20:43
『√るーとhigh↑２』　G
「笑う門には福来る！鳥取　復興の町を行く」
鳥取局／ 2.24／20:00～20:43
『どすこいフェスタ』　G
松江局／ 2.26／13:05～13:50
『ラスト　コンサート～秋山和慶　広響と歩んだ20年～』　E
広島局／ 3.30／ 1:50～ 2:33
〔県域〕
『39歳のがむしゃら野球～2000本安打　新井貴浩選手～』　G
広島県域／ 5. 8／ 8:00～ 8:25
『広島ロコドル　シャクトリバトル２』　FM
広島県域／ 5.21／13:00～14:00
『熱唱！NHKのど自慢予選会』　G
広島県三次市　広島県域／ 6. 5／ 0:50～ 3:05
島根県川本町　島根県域／ 7.17／ 0:50～ 3:30
岡山県高梁市　岡山県域／ 2.28／ 0:55～ 3:25
『広島ロコドルシャクトリバトル２～@フラワーフェスティバル～』　G
広島県域／ 6.20／ 0:54～ 1:37
『カープ　25年ぶり優勝へ～悲願達成へカウントダウン～』　G
広島県域／ 9. 9／19:32～20:45
『カープ熱烈応援キャンペーン！』　G
広島県域／ 9.10／16:05～17:55
「ヒロシマ　復興を支えた市民たち　鯉昇れ、焦土の空へ」
「39歳のがむしゃら野球～2000本安打　新井貴浩選手～」
『カープ　25年ぶりの優勝！』　G
広島県域／ 9.10／23:55～ 2:25
『永久保存版！歓喜の瞬間をもう一度　カープ25年ぶり優勝決定試合「巨人」対「広島」』　G　広島県域／10.10／ 0:05～ 4:15
『激闘カープ！クライマックスシリーズは？』　G　広島県域／10.11／22:25～23:15
『がんばれ！ふるさとランナー～ひろしま男子駅伝・あすスタート～』　G
広島県域／ 1.21／10:55～11:23, 12:38～12:45
『わたしのベストショット～アイラブビデオ年間大賞！～』　G
広島県域／ 3.18／10:05～10:48
『一級河川　旭川』　G　岡山県域
「春編」　4.29／20:43～20:45ほか
「初夏編」　6.11／12:38～12:40ほか
「夏編」　8.28／19:58～20:00ほか
「秋編」　11.12／12:38～12:40ほか
「冬編」　2.18／12:38～12:40ほか
『後楽園の四季』　G　岡山県域
「春」　6.29／15:40～15:45ほか
「夏」　9.10／12:40～12:45ほか
「秋」　12.10／12:40～12:45ほか
「冬」　3. 4／12:40～12:45ほか
『ふるさと百景』　G　岡山県域
「巨桜満開」　4.23／12:43～12:45
「桜みち」　5. 3／12:40～12:42
「光　乱舞」　7.18／23:13～23:15ほか
「滝　涼み」　8.26／16:48～16:50ほか
「受け継がれゆくピアノ」
2.25／12:40～12:45ほか
『奇跡の色　～備前・森陶岳　巨大窯に挑む～』　G　岡山県域／ 9.10／16:05～17:04
『岡山・香川スペシャル』　G
「島ものがたり　～備讃瀬戸・９つの島を巡る～」
岡山・香川県域／12.24／10:05～11:05
『@okayama　レシピ　私を作ったごはん』　G　岡山県域／ 3.31／20:15～20:43

『もぎたて！スペシャル　あふれる“隠れ待機児童”～解決の糸口はどこに～』　G
岡山県域／ 4. 1／10:55～11:25

『「あの日の記憶」特別編』　G
鳥取県域／ 4.22／19:32～20:00

『Brains』　G　鳥取県域
「深刻化　若者流出！　求められる鳥取の変革は？」　5.20／19:30～20:43
「女子会～鳥取で見つけたハッピー～」　10. 7／19:30～20:43
「未来への提言」　12.16／19:32～20:45

『√るーと５min.』　G
「あなたの願いにお応えスペシャル　その１～９」
鳥取県域／ 7.18，23，30，　8. 6，27，9. 3，10，17，19／12:40～12:45

『√るーとhigh↑２』　G
「あなたの願いにお応えスペシャル」
鳥取県域／ 9.23／19:30～20:13

『国立公園指定80周年　大山スペシャル』　G
鳥取県域
「プライムS選 Life of DAISEN」　10. 9／13:05～13:48
「√るーとhigh↑２選～大山町～」　10.15／10:05～10:30
「にっぽん縦断　こころ旅　～とうちゃこ～選▽372日目　鳥取県大山町」　10.15／10:32～11:01
「グレートトラバース　15min.　百名山一筆書き踏破への道　大山」　10.15／11:04～11:19
「さわやか自然百景　鳥取　大山」　10.16／ 7:45～ 7:59
「小さな旅・選　シリーズ山の歌　いつも心にそびえて～鳥取県　大山～」　10.16／ 8:00～ 8:25

『聞こえるよ！大山のメロディー』　G
鳥取県域／11. 3／ 8:15～ 8:58

『あの日の記憶特別編』　G
鳥取県域／12. 9／19:30～19:58

『防災ラジオ特集「いざという時、NHKラジオ」～あらゆる災害から命を守る～』　R1・FM
山口県域／11:50～12:00
「活断層を知って、備えを」　6.13
「知ってほしい気象用語」　6.14
「外国人にやさしい避難」　6.15
「大雨災害へのワークショップ」　6.16
「地域伝承で津波に備える」　6.17

『山口　戦争・平和インタビュー』　R1
山口県域／ 8. 5／12:30～12:55

『やまぐち人権インタビュー』　R1
山口県域／12:30～12:55
「大切な人を失った心の傷を癒したい～グリーフサポートやまぐち・山根和子さん～」11. 4
「加害者に寄り添い犯罪を防ぎたい～山口女子高専生殺害事件被害者家族・中谷加代子さん～」　11.11
「重度障がい者でも自分らしく生きたい～障がい者の自立を支援する団体・宅野瑠美さん～」　11.18

『プレミアムトーク　中原中也と「朗読屋」』　G　山口県域／ 1. 6／19:30～19:58

〔各局共通〕

『第83回NHK全国学校音楽コンクール』
「広島県コンクール」　E
小学校の部　9. 3／ 9:30～11:20
中学校・高等学校の部　9. 3／12:00～14:00
「岡山県コンクール」　E
小学校・中学校・高等学校の部　8.27／ 9:30～11:18
「島根県コンクール」　E
中学校の部　9. 3／ 9:30～10:42
小学校の部　9. 3／12:00～12:46
高等学校の部　9. 3／12:46～13:54
「鳥取県コンクール」　FM
小学校・中学校・高等学校の部　8.28／14:00～15:30
「山口県コンクール」　E
小学校・高等学校の部　8.27／ 9:20～11:38
中学校の部　8.27／13:00～14:24

３．核・平和関連番組

（１）地域番組

〔中国ブロック〕

『フェイス』　G
「しあわせのうた　～反骨の写真家　未公開ネガに迫る～」　山口局／ 6.17／19:30～19:58
「ヒロシマと“満州”～71年･終わらない戦争～」　広島局／ 7. 8／19:30～19:58
「私は毒ガスを作った　～大久野島　71年目の告白」　広島局／ 7.15／19:30～19:58
「ネオン街の語り部会～広島　若者たちと８月６日～」　広島局／ 9.16／19:30～19:58
「“もうひとつ”の～原爆の図」　広島局／ 9.23／19:30～19:58
「海底の“不沈艦”は語る　～追跡　戦艦大和

潜水調査～」　広島局／10. 7／19:30～19:58
「フロム・アメリカ　～彼らがヒロシマで見つけたもの～」　広島局／10.14／19:30～19:58
「すずが伝える戦争　“世界の片隅”に込めた思い」　広島局／ 1.20／19:30～19:58
『オバマ大統領広島訪問　被爆地ヒロシマの思い』　G　広島局／ 5.27／20:00～20:43
『ヒロシマ8.6ドラマ　ふろたき大将　故郷に帰る』　G　広島局／ 7. 1／20:00～20:43
『データでよみがえるヒロシマ』　G
広島局／ 7.15／20:00～20:43
『被爆前夜のヒロシマで…』　G
広島局／ 7.29／19:30～20:43
『いのちのうた2016』　G
広島局／ 8.26／19:30～20:43
『ヒロシマ　希望の絵　～焼け野原に見た“夢”～』　G　広島局／ 8.28／13:05～13:48
〔広島県域〕
『シリーズ　テレビが伝えたヒロシマ』　G
「プライムS　白に込めた悲しみ　被爆画家福井芳郎」　5.28／10:05～10:48
「プライムS　“母子”に捧げた人生　～画家四國五郎～」　5.29／13:05～13:48
「NHKスペシャル　ヒロシマ・女の肖像～写真家・大石芳野と被爆女性～」
7.30／15:05～15:49
「被爆70年特集ドラマ「赤レンガ」
7.30／15:50～17:03
「ドキュメント72時間　広島　大統領を待つ街角で」　7.31／15:45～16:10
「NHKスペシャル　オ願ヒオ知ラセ下サイ～ヒロシマ・あの日の伝言～」
7.31／16:10～16:59
『被爆71年　広島原爆の日特集』　G
8. 6／18:10～19:00
『オバマ大統領　広島訪問の後に』　G
12.17／10:05～11:27，17:00～17:54
「NEXT　未来のために　オバマと会った被爆者」
「ドキュメント72時間　広島　大統領を待つ街角で」
「フェイス　フロム・アメリカ～彼らがヒロシマで見つけたもの～」
「NHKスペシャル　決断なき原爆投下～米大統領　71年目の真実～」

（２）全国放送
『スタジオパークからこんにちは　ヒロシマ8.6ドラマ「ふろたき大将　故郷に帰る」』　G
8. 4／14:05～14:53
『平成28年　広島平和記念式典』
G　8. 6／ 8:00～ 8:38
G　中国ブロック　8. 6／ 8:00～ 8:55
R1　8. 6／ 8:00～ 9:00
『NHKスペシャル「決断なき原爆投下～米大統領　71年目の真実～」』　G
8. 6／21:00～21:54
『広島原爆の日ラジオ特集「あの日母は少女だった～被爆の記憶をたどる母と息子の対話～」』　R1　8. 6／21:05～21:55
『にっぽん紀行「それからの人生を聴かせてください～広島　ネオン街の語り部会～」』　G
8.24／20:15～20:43
『いのちのうた2016』　G
8.29／ 1:00～ 2:13
『スタジオパークからこんにちは　フェイス「フロム・アメリカ～彼らがヒロシマで見つけたもの～」』　G　11.28／14:05～14:54
『BS1スペシャル「INSIDE HIROSHIMA　インサイドヒロシマ」』　BS1
12.10／19:00～19:50
『クローズアップ現代＋「“この世界の片隅に”時代を超える平和への祈り」』　G
1.12／22:00～22:25
『BS1スペシャル「原爆投下　知られざる作戦を追う」』　BS1
1.14／19:00～19:50，20:00～20:49

４．スポーツ中継

〔高校野球〕＊ブロックと特記した以外は県域放送
第98回全国高校野球選手権大会・地区大会

広島県	準決勝	G・E・R1／ 7.24
	決勝	G・R1／ 7.26
岡山県	準決勝	G・E・R1／ 7.24
	決勝	G・R1／ 7.25
島根県	準決勝	G・E・R1／ 7.23
	決勝	G・E・R1／ 7.24
鳥取県	準決勝	G・E・R1／ 7.26
	決勝	G・R1／ 7.27
山口県	準決勝	G・E・R1／ 7.26
	決勝	G・E・R1／ 7.28

平成28年度秋季高等学校野球大会・地区大会

広島県	決勝	R1・FM／10.15
岡山県	準決勝	R1／10. 1

	決勝	R1／10. 2
島根県	準決勝	R1／10. 1
	決勝	R1／10. 2
鳥取県	準決勝	R1／10. 1
	決勝	R1／10. 2
山口県	準決勝	R1／ 9.25
	決勝	R1・FM／ 9.27

第127回秋季中国地区高等学校野球大会
（中国ブロック）

準決勝	R1／11. 5
決勝	R1・FM／11. 6

〔プロ野球〕

（中国ブロック）

「広島」対「阪神」	R1／ 4.22
「広島」対「DeNA」	G／ 5. 6
「広島」対「巨人」	R1／ 5.26
「広島」対「ソフトバンク」	G／ 6. 3
「広島」対「西武」	R1／ 6.16
「広島」対「阪神」	R1／ 6.24
「広島」対「ヤクルト」	R1／ 6.30
「広島」対「阪神」	G／ 7.22
「広島」対「巨人」	R1／ 9.15
「広島」対「中日」	R1／ 9.16

（中国・東海３県ブロック）

「中日」対「広島」	R1／ 5.13

（中国・北海道ブロック）

「日本ハム」対「広島」	R1／ 6. 9

（中国・近畿ブロック）

「阪神」対「広島」	G／ 5.20

（広島県域）

「広島」対「巨人」	R1／ 4. 1

クライマックスシリーズ　ファイナルステージ

「広島」対「DeNA」	R1／10.12
「広島」対「DeNA」	R1／10.13

〔Jリーグ〕

（広島・新潟県域）

「新潟」対「広島」	G／11. 3
「広島」対「新潟」	G／ 2.25

（広島・静岡県域）

「広島」対「清水」	G／ 3. 4

（広島県域・北海道ブロック）

「札幌」対「広島」	G／ 3.18

（岡山県域）

「岡山」対「水戸」	G／11. 6

（山口県域・北海道ブロック）

「札幌」対「山口」	G／ 5.28

（山口県域）

「山口」対「山形」	G／11.12
「山口」対「福岡」	G／ 3. 5

（山口・大分県域）

「大分」対「山口」	G／ 3.12

〔その他のスポーツ〕

第50回　織田記念国際陸上
G・E／中国ブロック／ 4.29

2016年度　全広島サッカー選手権・決勝
～第96回天皇杯広島県代表決定戦～
G／広島県域／ 7.17

第36回岡山県サッカー選手権大会・決勝
～第96回天皇杯岡山県代表決定戦～
E／岡山県域／ 8.21

第21回島根県サッカー選手権大会
～第96回天皇杯島根県代表決定戦～
G／島根県域／ 7. 9

平成28年度鳥取県サッカー選手権・決勝大会
E／鳥取県域／ 8.21

第22回全国都道府県対抗男子駅伝ハイライト
G／広島県域／ 1.22

第41回　日本ハンドボールリーグ　女子
「広島メイプルレッズ」対「ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング」
G／広島県域／ 2.18

Ⅱ．技　術

１．緊急・災害報道，選挙報道

広島で「G7外相会合」が開催され（4.10～11），ホスト配信や写協代表取材伝送等を実施した。

５月にはアメリカの現職大統領が広島平和記念公園を訪問。歴史的瞬間を全世界に配信した。岩国基地到着から平和記念公園への移動，献花，スピーチなどを，ヘリ・CSK・中継車・仮設ロボカメ・IP中継を駆使して技術要員86名で伝えた。

12月，山口県長門市にある長門湯本温泉で「日露首脳会談」が行われ，山口局をキーステーションとして対応した。

年末には「漁船・大福丸の転覆事故」が鳥取島根の県境付近の沖合で発生し，鳥取局と松江局が連携して報道対応にあたった。両局では，16年度から１か月に１度のペースで相互発のブロック中継を実施しており，運用実績の積み上げが奏功した形となった。

鳥取では10月に震度６弱となる「鳥取県中部地震」が発生，２月には「33年ぶりの記録的な積雪」と，数々の災害に見舞われたがいずれも迅速・的確に対応した。

７月の第24回参議院議員選挙では，憲政史上初の「合区」制度の下，「鳥取県および島根県選挙区」での選挙となった。そこで初の取り組みとして，松江局と鳥取局が協力して公示から政見放送，開票速報までを対応した。

２．番組制作

「広島カープ」のリーグ優勝パレード（11.5）では，NHKと在広民放４社で，中国地方初となる代表映像制作を実施した。NHKは移動車とWLカメラ２台，スイッチングセンターを担当し，民放がヘリと定点中継を担当，全素材をNHKに集結させた。

16年度の『広島平和記念式典』（8.6）は『リオデジャネイロオリンピック』と重なり，どちらも管中独自編成にて放送することとなった。いずれも字幕データの再重畳や２メディア同時の流動など複雑な対応となったが，部をまたいだ連携のもと無事送出することができた。

『ゆく年くる年』では，世界遺産登録から20年の節目となった「厳島神社」から中継。ドローンを使用した初の夜間海上生中継にチャレンジした。ラジオ『ゆく年くる年』では，仁摩サンドミュージアムの年越しイベントの様子を松江局が中継で伝えた。

『第22回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会』では，800MHz帯FPUでの移動伝搬を，1.2／2.3GHz帯へ完全移行した。さらに，新しい取り組みとしてライブストリーミングを実施。４chのライブ映像を同時配信し，ユーザー側で見たい映像を自由に選択できるようにした。

ドラマでは，広島局が『ヒロシマ８.６ドラマ』「ふろたき大将　故郷に帰る」（７月放送）と，伝統的民族芸能「神楽」を題材とした『舞え！KAGURA姫』（11月放送）を，山口局が中原中也の詩を軸にした物語『朗読屋』（１月放送）を制作した。原爆の日ラジオ特集『あの日母は少女だった～被爆の記憶をたどる母と息子の対話～』は，文化庁芸術祭ラジオ部門で大賞を受賞した。

４K･８K制作では，原爆投下後の３日間の悲惨な状況を被爆者が描いた「原爆の絵」を８Kでロケ。「生の額絵」と称される島根県安来市「足立美術館」では中国管内初となる８K（HDR）ロケで四季の移ろいを記録した。また，広島の伝統芸能である「神楽」の魅力を描いた『KAGURA』を４Kで撮影，岡山局では『後楽園の四季』，『一級河川　旭川』の四季を４Kで撮影した。

３．テレビ・ラジオ放送網

中国域内のNHK共同受信35施設で，大規模改修（光化）工事が竣工した。

放送の安定化に向け，米子ラジオ放送所（９月）・呉テレビ中継局（２月）など老朽化した放送機の更新や，ラジオ音声バックアップ強化整備（放送所へのプログラム伝送回線に異常が発生した場合に自動でバックアップ回線に切り替える）を各局で実施した。さらに，大規模災害時に基幹放送所の機能が失われた場合を想定し，放送会館などから電波発射が可能となるよう非常用のテレビ・ラジオ送信装置設置工事などを実施した。

４．開発

松江局が開発した「Kinectを利用したバーチャル映像システム『ViSIC』」が「第69回全国技術報告会」で最優秀賞を受賞，鳥取局が開発した「ブラウザーベースの双方向簡易作画装置『PEACESIGN』」は「第46回番組技術展」にて優秀賞を受賞した。

広島局が開発した「ロードレースバイク映像伝搬支援システムの考案」は，平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰で「創意工夫功労賞」を受賞した。

５．放送設備の充実・更新

広島放送センタービル屋上に設置している4.5mφCS副局アンテナを更新した。

広島県内のアナログ連絡無線基地局撤去が16年度で完了。デジタル化に伴う無線カバーエリアの補強として，岩国VHF連絡無線基地局の整備を行った。

10月に広島空港天気カメラの２台化整備を行い，緊急報道の迅速な対応に備えた。

島根原発にはIPカメラの設置と自然エネルギーシステムによる電源強化を行った。

鳥取県中部地震により倉吉テレビ中継放送所の外溝が破損。幸い鉄塔や放送機局舎への被害はなかったが，自家発局舎が損壊し建て替えることとなった。

６．視聴者活動

SHV試験放送開始（8.1）以降，域内各県で電器店等を対象に技術セミナーを開催するとともに，NHK各局での８K常設展示や，松江局で実施した「８K大相撲中継 in JR松江駅」などを通じて，８K映像と22.2マルチチャンネル音響の魅力

を広くPRした。

「広島カープ」のリーグ優勝パレードでは，東京・銀座にある広島のアンテナショップ「TAU（タウ）」で中国ブロックのオンエア映像をライブビューイングした。

広島放送センタービルの１Fエントランス改修（３月）を行った。存在感と明るいイメージを表現すべく，200インチプロジェクターを３台設置。48：９の超ワイド・サイネージシステムとした。

７．その他

岡山局が無事故７年，鳥取局が無事故３年を達成し「放送安定特賞」を受賞した。

Ⅲ．視聴者

１．広報

（１）番組広報

広島局では，広島発地域ドラマ『舞え！KAGURA姫』（BSP，11.30）の広報活動として，ポスター・リーフレット作成，ロケ取材会，広島・東京での完成試写会，地元での先行上映会，番組パネルやドラマ小道具の巡回展示などを実施した。また，『ヒロシマ8.6ドラマ』「ふろたき大将故郷に帰る」（G，7.1）では，広報ツール作成，ロケ取材会，完成試写会などを実施した。

松江局では，『NHKスペシャル』「縮小ニッポンの衝撃」（G，9.25）と『プロフェッショナル仕事の流儀』「答えは，地域にある～地方公務員・寺本英仁～」（G，9.26）のポスター・チラシを製作。取材対象となった地域に周知活動を行った。

山口局では，山口発地域ドラマ『朗読屋』（BSP，1.18）の広報活動として，湯田温泉でのロケ取材会，東京での完成試写会，山口県内３か所での番組パネル展示，会館公開での『朗読屋』コーナー設置のほか，トークイベントなどを実施した。また，ポスター，リーフレット（地域別に３種類），クリアファイル，しおり（図書館・書店用）を活用したさまざまな広報展開を行った。

（２）視聴者ふれあい活動

広島局では，「NHK・民放番組上映会2016」（8.5～14）を原爆の日を挟んだ10日間，在広民放４局と共同開催し，各社制作の被爆・平和関連24番組を上映した。

岡山局では，特別展「生命大躍進～脊椎動物のたどった道～」に関連して，岡山市内のショッピングセンターで「どんドン！GOGO！生命大躍進ひろば」（7.9～10）を，岡山局のハートプラザと隣接の「ひかりの広場」で「どんドン！進化の夏まつり♪」（7.22～23）を実施した。また，『大河ドラマ』「真田丸」に関連して，岡山ゆかりの大名・宇喜多秀家の重臣を演じた俳優を招いたプレミアムトークショー（11.5）を実施した。

松江局では，「松江水郷祭　花火大会」（7.30）に合わせて，会館屋上を視聴者に開放した。また，日頃催しの少ない地域でのミニイベントとして，川本町で「NHKミニ感謝祭@川本町」（11.20）を行い，どーもくんとのふれあいやラジオ工作教室などを実施した。

鳥取局では，開局80年にあたり「これまでも，これからも」をキャッチフレーズに地域の放送局としての役割や理解を深めるための関連番組やイベントなどを制作した。10月に予定していた会館公開は，開催前日に鳥取県中部の地震が発生したため取りやめた。また，ご当地キャラクター「砂丘どーもくん」を制作し，広報展開を行った。

（３）スーパーハイビジョン（４K・８K）

広島局では，５月の大型連休中の会館公開において，８Kコンテンツを上映するパブリックビューイングを実施した。

スーパーハイビジョン試験放送の開始（8.1～）に伴い，各局では85インチ８Kモニターによる受信公開を始めた。広島局では，試験放送開始初日に，関係者を招いた記念セレモニーを実施した。『大相撲中継』と連動して，松江局は松江駅で受信公開を行い，鳥取局は元NHKアナウンサーを招いたイベントを鳥取局および県西部で実施するなど，スーパーハイビジョンの臨場感を多くの人に体験してもらう取り組みを行った。

２．イベント事業

中国地方では109件のイベントを実施し，被爆71年のメッセージ発信と視聴者サービスの充実およびNHKへの理解促進に努めた結果，47万人の参加者があった。

広島局では，６万人が来場した「NHKシクラメンパーク」（5.3～5，広島局）をはじめ，「フレフレ！リオオリンピック応援ひろば」（8.5～14，広島局），広島発地域ドラマ『舞え！KAGURA姫』に連動して「天地をゆさぶれ！ULTRA神楽」公開録画（10.14，広島市）などを実施した。

中国地方各局では，各地域ならではのテーマを題材に独自のイベントを企画した。岡山局では，『NHKスペシャル』「生命大躍進」に連動した展覧会（7.15～9.4，岡山市）と関連イベントを実施

した。松江局では，相撲を題材にした公開収録『どすこいフェスタ』（2.12，出雲市）を実施したほか，鳥取局では，開局80年記念事業の一環として実施したワークショップ「音でつなぐ大山の未来」（6.1～10.5，鳥取県大山町），山口局では，山口発地域ドラマ『朗読屋』に関連したプレミアムトーク公開収録（12.10，山口市）などを実施した。

（１）全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『新･BS日本のうた』『歌う！SHOW学校』などの全国放送公開番組を中国地方で32本実施した。

（２）教育・こども

「NHK放送体験クラブ」「NHK全国学校音楽コンクール」「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」を中国地方各局で，また，「中国地方放送教育夏期特別研究交流大会」（8.2，岡山市），「高専ロボコン中国地区大会」（10.23，津山市）などの学校・教育関係事業を実施したほか，「おかあさんといっしょ宅配便」（広島，島根，山口），「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（12.4，倉敷市），「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（3.11，益田市），などのファミリー向けイベントを実施した。

（３）スポーツ・福祉・キャンペーン

「ラジオ体操・みんなの体操会」「各県サッカー選手権大会（天皇杯各県代表決定戦）」を中国地方各局で実施。「天皇盃第22回全国男子駅伝」（1.22，廿日市市）および関連イベント「駅伝ふるさとひろば」（1.14～22，広島局）を実施。福祉関連では「ハートネットTV公開すこやか長寿」（4.16，山口県上関町）をはじめ，「NHK歳末･海外たすけあい」（12.1～25）を実施したほか，「NHKハート展」（12.1～12，広島局）を実施。キャンペーン関連では，「環境キャンペーン」（広島・松江局）に関する各イベントを実施した。

（４）展覧会

「ボストン美術館ヴェネツィア展」（4.9～6.12，ひろしま美術館），「川瀬巴水展」（4.25～6.5，奥田元宋・小由女美術館），「特別展生命大躍進～脊椎動物のたどった道～」（7.15～9.4，岡山シティミュージアム），「第63回日本伝統工芸展」（11.17～12.4，岡山県立美術館／12.7～25，島根県立美術館／2.23～3.12，広島県立美術館）などの展覧会を開催した。

３．営業

16年度の中国ブロックは，５年連続となる全営業目標の達成を果たし，３か年経営計画の２年目の営業業績を確保した。

主な取り組みとして，広域型法人委託による契約開発業務への加重，エリア型法人委託の開発・育成に積極的に取り組んだ。訪問要員が不足している中において，職員による局所横断での事業所集中対策や若手営業職員で構成する事業所対策プロジェクトなどにより業績を維持した。

加えて，ケーブルテレビ事業者や不動産会社との連携を深め，訪問によらない営業活動を進めることで，一層の営業改革に取り組んだ。さらに，民事手続きの活動では，これまで通り訪問や文書を通じて誠心誠意丁寧な説明による説得活動を行うとともに，新たに民事調停を活用した取り組みを行うなど，公平負担の徹底に努めた。

なお，全国で実施した訪問要員のマナーアップキャンペーンの一環として，中国ブロックでは，委託法人全訪問要員を集めたマナーアップ講習会を実施するなど，指導強化を図った。

四　　国

◇昭和南海地震から70年となる12月を中心にニュース企画・特集番組等で防災・減災報道に努めた。南海トラフ巨大地震や直下型地震に備えて訓練や放送設備の機能強化を継続し，災害発生時の即応態勢の整備・強化を進めた。
◇４局合同の年間キャンペーン『Discover四国』では，観光・産業振興など地域の課題やその取り組みについて紹介した。NHKワールドTVの四国関連番組の集中編成（６月），『HAIKU MASTERS』の番組関連トークイベント（７月）では，四国の豊かな自然や文化の国際発信にも努めた。
◇徳島県と高知県の選挙区が合区となった参議院議員通常選挙（７月），伊方原子力発電所の再稼働（８月），四国各県に避難勧告が出された台風16号（９月）など，住民の関心が高く生活と密接に関わる課題をニュースや番組で継続的に取り上げ検証した。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

〔松山局〕

16年度は金曜夜間やニュース企画を中心に，四国４局で『Discover四国』キャンペーンを展開して観光・移住・産業振興などの視点から四国の魅力を発信した。プロローグでは，人口減少が進む四国において，田舎で広がる子育て移住や，地域経済をよみがえらせる新戦略など，希望や活性化のヒントを示した。そのほか「阿波おどり」「よさこい祭り」「瀬戸内国際芸術祭」の人気のイベントをさまざまな角度から見せる番組や，「愛媛発地域ドラマ」や，四国の魅力を歌と音楽で伝えるコンサートなど，多様なコンテンツを金曜夜間に大型番組として放送した。また，ニュース企画でも「四国に変革を」「移住者が変える四国」「四国の若きリーダー」などをシリーズとして，『おはようえひめ』や『ひめポン！』内で放送した。また，英語版ホームページを作成し，動画も英語表示して，インターネットで海外にも発信した。

日曜午後に新設した『四国えかこと！』では，食や自然，文化に歴史と，多彩なジャンルで四国の魅力を伝えた。また，愛媛が誇る俳句文化ならではの，学生が俳句の出来栄えを競い合う「学生俳句チャンピオン決定戦2016」を放送した。

金曜午後７時30分からの番組『四国羅針盤』では，道後温泉本館の耐震改修問題や，熊本地震以降懸念の高まる伊方原発の耐震性や避難計画等を特別生放送で伝え，県民の高い関心に応えた。また，田畑を荒らすシカやイノシシの“害獣”がジビエブームを背景に，食肉処理場が各地で整備され宝に変わろうとしている最新事情や，高齢ドライバー率が高い四国で，高齢者による自動車事故をいかにして防ぐのかなど，四国が抱える現状を読み解き，解決の方策を探った。また，３月には『四国羅針盤スペシャル』を放送した。熊本を襲った２度の震度７の“繰り返し地震”が四国でも懸念される中，住宅や道路に潜むリスクを取り上げ，暮らしを守るために役立つ備えについて，放送時間を43分に拡充して検証した。

ヒューマンドキュメンタリー番組『ドキュメントしこく』では，視覚障害者柔道でパラリンピック日本代表となった柔道家夫婦の挑戦や，「FC今治」の社長になり経営の仕事と格闘するサッカー元日本代表監督の岡田武史さん，アフリカゾウの家族を作ろうと励む飼育員とゾウの28年間の記録など，困難を乗り越え，前を向いて歩み続ける人たちの懸命な姿を記録に収めた。

そのほか，金曜夜８時台では，リオ五輪直前特番として，64年の東京五輪でバレーボール女子日本代表「東洋の魔女」を指導して金メダルに導いた大松博文（香川県出身）にスポットを当て，“鬼”と呼ばれた男の素顔に迫り，世界と戦うための秘策を探る番組を制作した。また，リオパラリンピックが終了した９月に，視覚障害者柔道で銅メダルに輝いた廣瀬順子さんと，夫で自らも日本代表となった廣瀬悠さんの挑戦を追加取材した43分番組『二人で決めた道を行く～柔道家夫婦の挑戦～』（9.23）を放送した。この番組は総合テレビとBS1で全国にも発信した。４県の高校生たちがクイズバトルを繰り広げる視聴者参加型の双方向クイズ番組，『四県対抗　しこクイズ』の10回目を放送した。今回は科学系高校対決。スーパーサイエンスハイスクールで科学を学ぶ高校生たちの授業や日常からもクイズを出題。番組中に出場校への応援メッセージを受け付けて紹介するとともに，データ放送やPC，スマートフォンからクイズに参加した人の正答率をチーム得点に反映するなど，視聴者が一体感を持てる演出とした。

平日夕方の地域ニュース情報番組を一新した，新番組『ひめポン！』。地域が見え，人が見える番組を目指し，視聴者の視点に立ったニュースを

素早く，分かりやすく伝えた。女性が気になる，健康と美容，アンチエイジングなどを取り上げた「ひめライフ」や，えひめ国体や東京オリンピックを見据え，期待の若手アスリートを発掘し活躍を伝える「えひめ国体」，リポーターが県内各地を隅々まで回り，その地域の自慢を中継で伝える「丹がおじゃ町ま～す」，データ放送で参加する「クイズひめ天」など，コーナーを充実させた。また，南海トラフ巨大地震に備えた最新の動きや取り組み，暮らしを大きく左右する地域経済の課題や新たな動きなどは，引き続きさまざまな視点から取り上げた。午前11時40分からの『えひめおひるのたまご』では，暮らしの知恵や生活情報，視聴者参加コーナーでの俳句や絵手紙などの趣味，旬の食材と料理，CATVリポートなど，幅広い情報を伝えた。また，番組キャラクターが，県内で活躍する人々やグループを紹介した。

BSプレミアム『“くたばれ”坊っちゃん～愛媛発地域ドラマ～』（6.22）は，松山の風土や人柄をふんだんに盛り込み，豪華俳優陣と地元出演者の共演で，地域の魅力を全国にアピールした。

松山局制作のEテレ全国放送番組『俳句王国がゆく』は，公開派遣型の番組になって５年目を迎えた。全国10か所の会場で公開収録を行った。U字工事の司会に，16年度からアシスタントとして谷尾桜子（ひめキュンフルーツ缶）が加わった。“ご当地チーム”と“俳句王国チーム”に分かれて俳句の技を競う「俳句バトル」や，地域にちなんだ「テレビ句会」など，俳句を通じて全国各地の魅力を伝えた。また，俳都・松山ならではの俳句番組として，Eテレ全国放送では『俳句甲子園2016「わたしを写す17音」』（9.11），県域放送で『それいけ！俳句キッズ』（1.15）を放送。R1では季語にとらわれない身近なテーマで，自由に575作品をツイッターやパソコンで投稿してもらう番組『つぶや句575』を年４回全国放送した。インターネットラジオ「らじる★らじる」を聴きながらPCやスマートフォンで作品投稿するなど，新しいラジオ番組の楽しみ方を提供した。さらに15年に引き続き，総合テレビで『テレビdeつぶや句575』（1.14）を放送した。今回は放送エリアを広げて，中国・四国・九州沖縄ブロックで放送した。ツイッターやホームページには，メッセージが多数寄せられ，若年層の支持を得た。

スポーツ中継は地域スポーツを中心に放送した。夏と秋の高校野球地区大会はテレビとラジオで中継を実施。サッカーJ2「愛媛FC」の２試合を総合テレビで中継したほか，野球独立リーグの四国アイランドリーグplus「愛媛マンダリンパイレーツ」対「読売ジャイアンツ（３軍）」の試合を総合テレビで放送した。

〔高知局〕

16年度は，県民に安心を与え，信頼される放送局を目指し，定時番組の見直しと命と暮らしを守る報道の強化を進めた。平日夕方のニュース情報番組はタイトルを『こうちいちばん』に改めた。また，10月から毎月最終月曜にラジオ第１で新番組『とさらじお』を開始。さらに『防災の日ラジオ特集』「南海トラフ巨大地震・命を守るために」（9.1）では，黒潮町の防災への取り組みを伝えたほか，『四国羅針盤』「いつか来る　その日のために～密着　高校生“津波サミット”」（12.9），『四国羅針盤スペシャル』「“繰り返し地震”が四国を襲う　あなたの暮らしをどう守る？」（3.10），『南海地震に備えちょき』などの番組で県民に災害に備えることの重要性を改めて喚起した。また，８月と２月に「四国４局合同緊急報道訓練」，３月に「四国非常災害対策総合訓練」を実施し，四国全体で緊急時の災害報道態勢を強化した。

９月の台風16号対応では，特設ニュース・L字放送・データ放送・災害情報ページなどで，最新の情報をきめ細かく伝えた。

７月の参議院議員選挙は，徳島県との合区で全国的にも注目された選挙で，徳島局と連携を取りながら丁寧に取り上げた。

県中西部で４月から12月末まで開催された「2016奥四万十博」に併せ，『おはよう四国』や『こうちいちばん』のほか，10月の『ひるブラ』「かつお三昧！市場回って食べまくれ」「秋の四万十！“栗焼酎”を満喫」で，四万十川流域や中西部の魅力を伝えた。

地域番組では『高知スペシャル』を３本放送。５月は「大地と生きた写真家～ブラジル移民　大原治雄～」，10月は「土佐を創った男　野中兼山～作家　山本一力　その足跡をたどる～」，３月には坂本龍馬がつづった手紙の魅力を伝える「拝啓　龍馬殿　～150年の時を越えた　言葉の力～」を放送した。『みてみいや土佐』では，今後の映像資産化に備え，年度後半から４Kでの撮影を開始した。

全国番組では，『ドキュメント72時間』「ゆきゆきて　酷道439」（6.3），『サイエンスZERO』「生命の限界を探れ！“海底地下生命”大探査」（11.13），『先人たちの底力　知恵泉』「人生困った時の選び方～ジョン万次郎　流されてたまるか！～」（2.28）などを放送した。63回目となる

「よさこい祭り」は生放送と録画を含め計約５時間の放送を行い，会場の熱気を余すことなく伝えた。

公開番組では，『弾き語りフォーユー』（6.22，田野町），『NHKのど自慢』（9.4，須崎市），『にほんごであそぼ　元気コンサート in 高知』（12.18，高知市），「ラジオ深夜便のつどい」（2.4，四万十町）などを実施。試験放送が始まったスーパーハイビジョンの普及イベントとして行った「元祖植物男子牧野富太郎牧野植物図鑑」では，鮮明な映像と臨場感あふれる立体音響システムを体感してもらった。

スポーツでは，四国アイランドリーグplusや天皇杯サッカー高知県大会決勝を中継。元メジャーリーガーのマニー・ラミレスの「高知ファイティングドッグス」入団情報，リオパラリンピック車いすラグビーの池透暢選手の活躍，選抜高校野球で40年ぶりの甲子園出場となった中村高校など，県民が注目するニュースをきめ細かく伝えた。

また，県内民放３社と協力した共同キャンペーン「みてみて高知12468（ワンツーヨーロッパ）」を開始。同一スポットを横断的に流したほか，４局のキャスターが県内のイベントに参加しテレビ視聴を呼びかけた。

〔徳島局〕

徳島県内が記録的な大雨となった９月の台風16号や県南・西部の８月の大雨に際して，IP中継などを駆使した特設ニュースやL字放送，災害情報ページなどで詳しく情報を発信した。

昭和南海地震から70年にあたる12月に県域特集番組『阿波スペシャル』「巨大南海地震から70年　そのとき子どもたちは」を放送。未就学児の保育施設と小学校が模索する津波避難場所の選定や“自助”の意識向上のための取り組みなどを伝えた。また，地震発生日の12月21日には，平日夕方の地域ニュース情報番組『とく６徳島』で救助訓練や70年前の被災者の証言，緊急報道拠点からの防災解説など多角的に伝えた。

徳島県と高知県に合区が導入されて実施された７月の参議院議員選挙では，松山・高知局とも連携して公示前の特集番組や関連の選挙企画，開票速報番組などを正確・迅速に伝えた。

『とく６徳島』は番組のテーマ音楽やイメージカラー，スタジオセットなどを６年ぶりにリニューアルするとともに放送内容の充実も図った。視聴者との結び付きを強めるため，ホームページからメッセージを投稿できるシステムを構築。番組内で視聴者の“声”を随時紹介した。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成を目的に，徳島県関係のアスリートたちを応援する企画コーナー「徳島のオリンピアン・パラリンピアン」を新設。リオ五輪バドミントン女子ダブルスで金メダルを獲得した松友美佐紀選手やリオパラリンピック柔道男子の銅メダリスト・藤本聰選手がスタジオ出演した。また，県内４大学の文化系サークルの活動を広く紹介する企画コーナー「ぶら★キャン」はホームページと連動して動画を公開。若者を中心に現役世代の関心を集めた。

地域の魅力や課題などをテーマにした番組も積極的に制作して発信した。徳島の過疎・高齢化の街で祖母に寄り添いながら自らの人生を切り開こうとする女性に密着したドキュメンタリーを，４月に全国放送の『NEXT　未来のために』で，６月にはNHKワールドTVで放送した。８月から９月にかけて，年間キャンペーン『Discover四国』の一環で特集番組「徳島 阿波おどり2016」を四国ブロック，全国，世界に向けて発信した。10月に四国ブロック向けの『四国羅針盤』でモノ作りの最前線を報告した「“第４の産業革命”ITで変わる中小企業」を放送。11月には『小さな旅』で，人形浄瑠璃を演じる農村舞台と伝統の舞台装置「ふすまからくり」が受け継がれる徳島市八多町の風土を見つめ，全国に向け放送した。１月，IT関連企業の進出や移住者の増加で活気が生まれている県の山間にある神山町で，家具のデザインに打ち込む都会出身の若者の姿を描いた『人生デザイン U-29』を全国発信した。

４K８Kの実用放送に向けて，徳島局の「４Kプロジェクト」をスタート。伝統芸能の阿波踊りや特産の藍，雄大な自然やLED作品のアートフェスティバルなどの撮影で新たな映像表現を開拓するとともに，コンテンツの蓄積を進めた。

〔高松局〕

津波や高潮による浸水予想地域を主なテーマとし防災・減災報道への態勢強化に力を入れた。県内で，最も早く浸水が予想されている地域にロボットカメラを設置し（６月），浸水地域周辺で中継できるポイントを新たに４か所見いだした。いざという時に迅速に状況を伝え避難を呼びかけるための訓練も繰り返し実施したほか，『ゆう６かがわ』の「災害に備える」でも浸水被害のあった昭和南海地震を特集として振り返った。『かがわ防災ラジオ』も年５回（４月，６月，８月，12月，３月）放送。南海トラフ巨大地震，直下型地震への備えなど防災意識向上につなげた。

台風16号（９月）では，テレビで特設ニュース

を２回放送したほか，ラジオは音声の上乗せ，L字放送やデータ放送，インターネットでも発信した。

香川の魅力や話題について，数多くの番組を放送した。香川県から２校が出場し，１校は準優勝したセンバツ高校野球では，選手たちの活躍の振り返りと地元の盛り上がりを２本の特番で集中して放送した。また，３年に１回，瀬戸内の島々を舞台に開かれる「瀬戸内国際芸術祭2016」を機に局全体でプロジェクトを立ち上げ，『ゆう６かがわ』で毎週話題を届けたほか，地元紙と連携して特集を企画した。また，『あさイチ』「JAPA－NAVI」『新日本風土記』（10月）などでも瀬戸内の魅力を全国に届けた。丸亀城で絵手紙を通して全国の人々と交流を続ける女性を『にっぽん紀行』（５月）で放送したほか，年末には，総本山善通寺から年越しうどんがふるまわれている様子を『ゆく年くる年』で紹介した。さらに，琴平町の金刀比羅宮になぜ人は引かれるのかをテーマに地元の人にもあまり知られていない歴史を『ブラタモリ』（１月）で紹介した。

地域の課題については，交通事故による死者数が人口比で全国ワースト１位となった香川県の現状と課題を『ゆう６かがわ』でシリーズ企画（９月）につなげたほか，スポットに作り変えて注意点を繰り返し放送した。ほかにも，増え続ける「乳がん」「働き方改革」「地域の治安」などについて，シリーズで多角的に放送した。また，四国に3,000か所あり事故が絶えない「勝手踏切」について『四国羅針盤』（９月）で放送。制度のはざまで危険が放置されている現状を描いた。老朽化した水道管の更新がなかなか進まない問題についても，『ニュース　シブ５時』（２月）で詳細にリポートした。また，大量の産業廃棄物が不法投棄された豊島について，14年にわたる産廃撤去作業が終わる日（３月）に，『ゆう６かがわ』で中継を軸に産廃と闘ってきた島の歴史と島民の思いを見つめる特集を放送した。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『おはようえひめ』　G

各県域（一部四国ブロック）
月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.5／最新のニュースや気象情報をきめ細かく伝えるほか，天気カメラリレーで四国４県の朝の表情を伝えた。企画や中継などで構成し，随時，四国４県や西日本各局と共同で，季節の中継や企画シリーズを放送した。／各局タイトル：高知『おはようこうち』，徳島『おはよう徳島』，高松『おはようかがわ』

『おはよう四国』　G

四国ブロック　土　7:30～ 8:00

第１回93.4.10／週末の朝にふさわしく爽やかさを大切に，休日に役立つ情報を伝えることが番組コンセプト。四国の魅力を再発見する企画「四国プラス」では，各局のリポーターが，季節の風物詩や伝統の技，旬の食べ物などを取材し，スタジオで紹介した。週末のイベント情報を案内する「ウィークエンド・ナビ」や，西日本各地を巡る紀行「西日本の旅」を継続して放送した。

『えひめ　おひるのたまご』　G

各県域　月～金　11:40～12:00

第１回07.4.4／暮らしに役立つ生活情報を伝える番組。月曜は「暮らしを豊かに」と題して，健康や趣味の世界などの情報，火曜は映像を基に俳句を募集する「挑戦！movie俳句」や，“愛媛のうまいもの”など１つのテーマから絵手紙を募集して紹介した。水曜は「えひめホット情報」として県内の旬の話題を放送したほか，第４週には県内のケーブルテレビの番組を紹介した。木曜は県内の公園の知られざる魅力を紹介，金曜は週末のイベント情報を伝えた。このほか番組キャラクターの「昼田真子さん」が県内各地を訪ねて，キラリと光る地域の人や取り組みを紹介するミニコーナーや，各地の「お知らせ」，NHK職員が番組やイベントなどを紹介する「ひるたま掲示板」なども放送した。／各局タイトル：高知『こうち情報BOX』，徳島『とくしまｉ』，高松『ひるまえかがわ』

『ひめポン！』　新　G

各県域　月～金　18:10～19:00

第１回16.4.4／愛媛県域／「地域が見える，人が見える」をキャッチフレーズとする平日夕方のニュース情報番組。番組では，南海トラフ巨大地震に備えた命を守るための最新の取り組みを積極的に伝えた。８月の伊方原子力発電所の再稼働を巡っては，地元自治体の動向に加えて，事故時の避難の課題など，多角的な視点で分かりやすく伝えた。７月の参議院議員選挙では，選挙戦の動向や結果だけでなく，「18歳選挙権」に関連して若者の投票率向上の取り組みなどを継続して伝えた。また，四国共通の課題を継続して徹底取材する取り組みを管内４局が合同で進め，防災や高齢者ドライバー対策，働き方改革などさまざまな分野の最新の動きをシリーズで詳しく伝えた。／各

局タイトル：高知『こうちいちばん』，徳島『とく６徳島』，高松『ゆう６かがわ』

『四国羅針盤』　G

四国ブロック　金　19:30〜19:58
㊗土　10:55〜11:23

第１回00.3.31／“四国のいまと向き合う”をモットーに，各県が抱える課題や地域活性化の新たな取り組みなどを伝えた。16年度は南海トラフ巨大地震の関連で「“繰り返し地震”が四国を襲う　あなたの暮らしをどう守る？」，伊方原発の関連で「伊方原発　安全対策は万全か〜熊本地震で見えた課題〜」を放送。また，「知っていますか“勝手踏切”〜四国で相次ぐ死亡事故〜」「“宅配危機”ネット通販拡大のかげで」など，関心が高くタイムリーなテーマを重点的に放送した。

『ドキュメントしこく』　G

四国ブロック（年10本）　金　19:30〜19:58
㊗土　10:55〜11:23

第１回13.4.14／「四国の“今を生きる”人々を伝える」がコンセプトのドキュメンタリー番組。16年度は藍染めに取り組む若者を取材した「僕らの青を届けたい」，新たな橋の開通に揺れる島の人々を見つめた「橋が架かる島で」，パラリンピックに挑む柔道家夫婦を追った「二人だから　強くなれる〜柔道家夫婦の挑戦〜」など，前を向いて歩み続ける四国の人たちの姿を記録し，放送した。

『四国えかこと！』　新　G

四国ブロック（年間９本）　日　13:05〜13:48
㊗土　10:05〜10:48

第１回16.4.24／食や自然，文化に歴史と，多彩なジャンルで四国の魅力を伝えた。町や村を訪ねてユニークで多彩な食文化に触れる「旅グルメ」，鉄道でのんびり楽しく自然や人情にふれる「四国鉄道ものがたり」，愛媛が誇る俳句文化ならではの，学生が俳句の出来栄えを競い合う「学生俳句チャンピオン決定戦2016」ほかを放送した。

『四国おはようネットワーク』　R1

四国ブロック　月〜土　7:40〜 7:58

第１回93.4.5／最新の気象情報，ニュースのほか，四国各地の朝の様子や話題を，各県の「おはようリポーター」が電話で伝えた。このうち，月曜は「防災ネットワーク」で，四国の災害の研究者や防災関係者に，南海トラフ巨大地震への備えや災害時の対応などを聞いた。このコーナーは松山局の防災ポータルサイト「防マガ」と連動，原稿や放送は「防マガ」にも掲載した。土曜は，四国各地の俳句関係者と伝える「俳句ネットワーク」。１つの季語にまつわる作品の紹介やその奥深さなどを伝えた。祝日は四国ゆかりの文芸作品を，各局のアナウンサーなどが朗読する「四国を読む」を放送した。

『ラジオまどんな』　新　R1

県域　月　17:00〜17:55

第１回16.4.4／夕方のひととき，愛媛の人と一緒に楽しむ内容。「今週のどんな人」は地域で活躍している人のトークコーナー。後半の「食のカレンダー」は，日本料理やフレンチを取り上げ，水産市場の人や料理研究家から旬の食材とおすすめレシピを教えてもらった。リクエスト音楽やメール，お便りも毎回紹介した。

（２）特集・特別番組

〔中国，四国，九州・沖縄ブロック〕

『テレビdeつぶや句575』　G

松山局　1.14／ 0:10〜 0:59

〔四国ブロック〕

『Discover四国』　G

「田舎で見つけた希望の芽」
松山局　4.29／19:30〜20:43

「全部見せます！こんぴら歌舞伎〜第32回四国こんぴら歌舞伎大芝居〜」
高松局　6. 3／19:30〜20:43

「徳島　阿波おどり2016〜進化する熱狂の踊り〜」
徳島局　8.26／19:30〜20:43

「土佐の夏2016　よさこい祭り」
高知局　9. 2／19:30〜20:43

「ディープなトコまで　見せます！島アート〜開幕！瀬戸内国際芸術祭2016〜」
高松局　10. 7／19:30〜20:43

「Discover四国コンサート」
松山局　12. 2／19:30〜20:43

「“湯の迷宮”が秘めた謎　知られざる道後温泉本館」
松山局　1.20／19:58〜20:41

「愛媛発地域ドラマ『“くたばれ”坊っちゃん』＋13分メイキング」
松山局　1.27／19:31〜20:43

『水樹奈々in新居浜　のど自慢延長戦』　G

松山局　5.15／13:05〜13:48

『四国女子会「四国の謎　大調査スペシャル」』　G

徳島局　7.30／ 0:10〜 0:59

『漱石先生タイクツ日記〜松山は　どうぞな，もし〜』　G

松山局　6.17／20:00〜20:43

『リオ五輪直前特番「“鬼”の大松　世界一の絆をつくった男」』　G
松山局　7.29／19:58～20:41
『二人で決めた道を行く～柔道家夫婦の挑戦～』　G
松山局　9.23／20:00～20:43
『四県対抗　しこクイズ～第10回　科学系高校対決～』　G
松山局　2. 3／19:30～20:43
『四国羅針盤スペシャル「“繰り返し地震”が四国を襲う　あなたの暮らしをどう守る？」』　G
松山局　3.10／19:32～20:15
『Nコン2016　第83回NHK全国学校音楽コンクール　四国ブロックコンクールー　小・中・高等学校の部　ー』　E
松山局　9.24／14:00～17:00
『アイデア対決・高専ロボコン2016ー　四国地区大会　ー』　G
松山局　11.13／11:00～11:54
『Nコン2016　第83回NHK全国学校音楽コンクール・各県コンクール』
「愛媛県」E　8.22～23　「高知県」FM 8.23
「徳島県」FM 8.23　「香川県」FM 8.23

〔愛媛県域〕
『ラジオ３局共同キャンペーン「ら♪ら♪ら♪ラジオです。～みんなで夜市！～」』　R1
7.16／19:25～19:55
『フォーラム　がんと生きるin松山「最新治療と緩和ケア」』　G
8.28／13:05～13:48
『校歌・わが心のふるさと～愛媛の小学校うためぐり～』　G
11. 3／13:05～13:48
『ラジオ３局共同キャンペーン「ら♪ら♪ら♪ラジオです。in　NHKふれあい秋まつり」』　R1
11.26／10:30～11:40
『NHK松山×南海放送×FM愛媛　共同ラジオキャンペーン「ら♪ら♪ら♪　ラジオです」防災特別番組　昭和南海地震から70年～そのとき　どうするか　考えよう！～』　R1
12.21／13:30～14:55
『それいけ！俳句キッズ』　E
1.15／14:00～15:00
『夏目漱石生誕150年記念番組「朗読談義　吾輩（わがはい）は“坊っちゃん”ではない！？」』　R1
3.12／14:00～15:27

〔高知県域〕
『高知スペシャル』　G
「大地と生きた写真家～ブラジル移民　大原治雄～」　6. 4／11:20～11:53
「土佐を創った男　野中兼山～作家　山本一力その足跡をたどる～」
12.15／19:30～20:13
「拝啓　龍馬殿　～150年の時を越えた　言葉の力～」　3.18／10:05～10:48
『土佐の夏2016　よさこい祭り』　G
8.10～11／19:30～20:50
『南海地震に備えちょき』　R1
12.21／20:05～21:00，21:05～21:30

〔徳島県域〕
『阿波スペシャル』　G
「踊る阿呆　88歳の夏　～阿波おどり名人　四宮生重郎～」　9.24／10:55～11:23
「昭和南海地震から70年　巨大地震　そのとき子どもたちは」　12.16／19:32～20:00
「謎の人形師を追え～よみがえる阿波人形浄瑠璃の世界～」　3.24／12:20～12:43
『熱演！真昼の阿波おどり2016』　E
8.29／ 1:55～ 5:21，8.30／ 1:40～ 4:51
8.31／ 1:40～ 4:47
『第26回リオデ徳島音楽祭』　FM
11.22／14:00～15:55
『あわ☆メロR』　R1
1.30／17:08～17:55，2.27／17:00～17:55
『あわ☆メロ』　G
「トレンド先取り！徳島HOTワードSP」
3.14／22:25～23:08
『あわ☆メロRスペシャル』　R1
「80年代アイドル特集」
3.30／17:00～18:50
『徳島ラジオ４局共同制作「いのちのラジオ　徳島の防災を考える」』　R1
2.18／17:00～18:00

〔香川県域〕
『香川スペシャル』　G
「感動ありがとう　高松商業～センバツ準優勝の軌跡～」
4. 3／13:05～13:40
「香川が沸いた！センバツ2016～高松商業・小豆島高校の春～」
4.10／13:05～13:48
「島ものがたり　～備前瀬戸・９つの島を巡る～」（香川・岡山県域）
12.24／10:05～11:05

『熱狂ライブ！MONSTER　baSH　2016』
G　9.24／ 0:20～ 1:03
『かがわ防災ラジオ』　R1　12:30～12:55
「夜間の地震の注意点」　4.22
「建物の耐震化について」　6.17
「夏の防災を考える」　8.26
「昭和南海地震から70年　その教訓を考える」　12.16
「東日本大震災から６年　今、考える香川の防災」　3.10
『かがわラジオスペシャル』　R1
「瀬戸内国際芸術祭のみどころ紹介」　4. 8／12:30～12:55

３．スポーツ中継

〔高校野球〕
全国高校野球選手権大会・各県大会
〔各県域〕
愛媛県　準決勝　G・E・R1・FM／ 7.27
　　決勝　G・E・R1／ 7.28
高知県　準決勝　G・R1／ 7.26
　　決勝　G・R1／ 7.27
徳島県　準決勝　G・E・R1／ 7.27
　　決勝　G・R1／ 7.28
香川県　準決勝　G・E・R1・FM／ 7.24
　　決勝　G・E・R1／ 7.25
秋季四国地区高校野球・各県大会
〔各県域〕
愛媛県　準決勝，代表校決定戦，決勝　R1・FM／10.15～16
高知県　準決勝，３位決定戦，決勝　R1／10. 8～ 9
徳島県　準決勝　R1／10. 2
香川県　準決勝　R1・FM／10. 8
　　３位決定戦，決勝　R1／10. 9
秋季高校野球四国大会（四国ブロック）
準決勝　G・G2・E・R1／10.29
決勝　G・G2・E・R1／10.30
〔全日本サッカー選手権〕
〔各県域〕
〔地区大会〕
愛媛県　代表決定戦　E　8. 7
高知県　代表決定戦　G　7.31
徳島県　代表決定戦　G　5.22
香川県　2016年 代表決定戦　G　7.30
　　2017年 代表決定戦　E　3. 4

〔サッカーJリーグ中継〕　G
〔愛媛県域〕
「愛媛FC」戦
対「ツエーゲン金沢」　11. 3
対「京都サンガ」　11.12
〔徳島県域〕
「徳島ヴォルティス」戦
対「清水エスパルス」　11.20
対「東京ヴェルディ」　2.26
〔香川県域〕
「カマタマーレ讃岐」戦
対「横浜FC」　9.25
〔四国アイランドリーグplus中継〕
〔愛媛県域〕　G
「愛媛マンダリンパイレーツ」戦
対「読売ジャイアンツ（３軍）」　5.20
〔高知県域〕　R1
「高知ファイティングドッグス」戦
対「愛媛マンダリンパイレーツ」4. 8,　9. 9
〔徳島県域〕　R1・FM
「徳島インディゴソックス」戦
対「高知ファイティングドッグス」　5.27
〔香川県域〕　R1
「香川オリーブガイナーズ」戦
対「徳島インディゴソックス」　5.12,　9. 9

Ⅱ．技　術

１．放送機能の強化

放送所の電源強化として，高知・梼原テレビ局や大正テレビ局で自家発電装置を整備したほか，愛媛・楢原山固定局では自家発用燃料タンクを200時間分に増量した。放送電波の安定確保に向けては，松山・行道山テレビ放送所に予備空中線を整備したほか，テレビ中継局の放送機２台化（伊予玉川局ほか13局），ラジオ・FM中継局の送信機更新（野村局ほか６局）を実施した。

また，南海トラフ巨大地震などの大規模災害への対策として高知・宿毛ラジオ，徳島・牟岐ラジオ，愛媛・宇和島ラジオのFM補完中継局の整備を進め，四国総合通信局より予備免許を受けた。このうち宿毛補完局は17年３月末に開局させた。

２．地域放送の充実

四国４局の合同キャンペーン『Discover四国』に取り組み，地域を多角的に捉えた魅力ある番組を放送した。３年ぶりの愛媛発地域ドラマ『“く

たばれ”坊っちゃん』では全編を松山市内でロケし，地元の人にも多く出演してもらうなど地域の活性化にも寄与した。15年に続き大型コンサートを西条市市民文化会館で収録した。総勢50人の技術スタッフで四国出身の歌手や四国ゆかりの楽曲など郷土の魅力あふれるステージを余すところなく伝えた。

民放２社と松山局で３局合同愛媛県ラジオキャンペーン「ら♪ら♪ら♪　ラジオです」を展開した。キャスターの相互出演だけでなく，技術も協力して３社合同で番組を制作・送出するなど県域ラジオ放送への関心を高めた。

耐震補強のため改修工事が予定されている道後温泉本館の今の姿を４Ｋカメラで撮影した。現行放送との両立を図りながら編集を行い，道後温泉の魅力と秘密に迫る番組として放送した。

スポーツでは四国アイランドリーグplusのナイター中継やJリーグ，天皇杯サッカー，高校野球県大会など地域スポーツの魅力を生放送した。

これまで四国ブロックで放送していた『テレビdeつぶや句575』の放送範囲を拡げ，中国・九州・沖縄地域にも生放送した。インターネット経由で視聴者からの投稿やツイートメッセージを受け付けるシステムを開発・導入し，寄せられた1,062件の投句やメッセージの一部を画面に表示するなど，双方向を生かした番組を放送した。

また，夕方の愛媛ローカル『ひめポン！』でもデータ放送を使ったクイズやアンケートを毎週実施し，親和感の向上と視聴習慣の定着を進めた。

３．放送設備の整備

ニュースの制作・送出設備のファイルベース化を進め，７月に新システムに移行した。VTRと比べ取材・編集・送出という一連の作業効率と利便性が向上し，より迅速なニュース制作を可能とした。

４．緊急報道・選挙報道

熊本地震拡大による津波や大雨による地滑りを警戒し，太陽電池パネルを備えた緊急展開ロボットカメラを設置して防災・減災報道に備えた。７月の参議院議員選挙では，政見放送から告示日の第一声，投開票日の事務所中継まで無事故で放送を行った。９月の台風16号は速度が遅い上に進路も定まらず難しい対応となったが，天気カメラやIP機器を活用した中継を展開し，刻々と変化する風雨や被害の状況を伝えた。

IP伝送の増加を受け，受信機器の操作や監視，接続，連絡系などを１か所に集めたIP卓を設置した。IP中継や伝送の受信業務が１か所で可能となり，緊急報道時の対応の迅速化にも役立っている。

伊方原子力発電所を望む２台目のカメラとして，モニター用カメラを２月に整備。既存のカメラの反対側からも原発の様子を伝えることができるようになった。

８月と２月に四国４局合同の緊急報道訓練を実施した。８月は中央構造線による直下型地震を想定し，取材から放送開始までの流れを訓練した。この際明らかになったニュース副調のレイアウトや中継場所との連絡系の課題を改善し，２月の訓練では改善効果も検証しつつスキルの向上を図った。また，５月には高知会館の機能喪失時にも高知ローカルのラジオ放送を実施する系統確認と訓練を実施した。朝倉サテライトスタジオと松山局を衛星電話で接続し，朝倉の音声と東京の音声を松山で切り替えて，再度，朝倉経由で高知県向けに送出するという方法を検証し，必要な衛星回線数や演出上の留意事項を確認した。

高知会館が被災した際の四国南岸域からのヘリ映像受信ルートを調査し，高知県営甫喜ヶ峰森林公園を中間点とするルートを開拓し，公園管理者である高知県と使用協定を締結した。

５．良好な受信環境の確保

NHK共同受信施設の安定受信のために光ファイバーによる老朽更新工事を玉谷（愛媛県），日ノ浦（高知県）など32施設で実施した。

電話による受信相談（約1,560件）や訪問による受信相談（約440件）を通し，安定した受信環境の維持を図るとともに，スーパーハイビジョン試験放送を受信公開するなどCS活動も行った。

Ⅲ．視聴者

１．広　報

〔松山局〕

（１）地域番組等の番組広報

３年ぶりに松山局で制作した愛媛発地域ドラマ『“くたばれ”坊っちゃん』（6.22）について，さまざまな方法でPRに取り組んだ。広報印刷物は番組ポスターやチラシのほか，営業対策用のリーフレットも作成。松山市中心街での大型看板広告を放送前の約１か月掲出したほか，ポスターやチラシはロケ地となった道後温泉の商店街や各種公共施設でも掲出や配布を行った。また，マスコミ

向けのロケ取材会や東京での試写会のほか，地元関係者やエキストラを招待しての先行試写会を実施して，地域住民と一体となっての盛り上げを図った。放送直前には，市内中心部で開催される催事にPRブースを出展した。

地域放送番組では，５年ぶりにリニューアルした午後６時台のニュース情報番組『ひめポン！』の，大型看板広告を４月から５月にかけて松山市中心街に掲出したほか，タウン情報誌への記事広告掲載や，１階ロビーでのキャスター等身大バナーの展示，初回放送日における新聞テレビ欄色付け広告，JR松山駅のデジタルサイネージ広告など，各種PRを展開した。また，全国放送の『俳句王国がゆく』では，各回のチラシを，そのつど作成するなど，地域放送番組や，松山局制作の全国放送番組の積極的な広報に努めた。

（２）地域のみなさまとの絆を強化

多彩な広報イベントを実施し，年間を通して幅広い視聴者層に接する機会を持った。

４月には，経営委員会による「視聴者のみなさまと語る会in松山」（4.9）を開催。７月には，松山市中心街での催事で，地元民放とのラジオPR共同キャンペーンイベント（7.16）を実施したほか，「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」（7.31）の会場で番組PRブースを展開した。８月には家族単位での特別会館見学イベント「夏休みファミリー見学」（8.2～5）を実施し67家族208人が参加した。

11月には15年度に引き続き，県・松山市・マスコミ各社が催す「えひめ・まつやま産業まつり」と連携し，会館公開「NHKふれあい秋まつり2016」（11.26～27）を開催した。300インチ大画面と22.2ch音響による８Kシアター，『精霊の守り人』トークショー，地元民放とのラジオPR共同キャンペーンの一環として実施した公開生放送，番組と連動したトークショーやキャラクターショーなどを展開し，２日間で5,451人が来場した。

会館内のアートギャラリーでは，地域の趣味サークルなどの団体による幅広い分野の展示を年間44回（うちNHK主催で「“くたばれ”坊っちゃん展」「ぼくの絵わたしの絵展」等７回）実施し，入場者数は４万2,191人だった。また，団体見学者は，小学５年生を中心に112団体4,832人，来局者の総数は８万8,091人だった。そのほか，松山局制作番組やイベント，アナウンサー・キャスター，会館施設等を紹介する総合パンフレットを春夏号と秋冬号の２回作成して配布した。

（３）会館見学施設の整備

１階ロビーに本部から配備された８K機器を設置して試験放送の受信公開対応を行ったほか，今後の地域における４K制作番組の増加を見据え，65型４K対応テレビを新たに整備した。また，これまで２階にあったアナウンサー体験スタジオセットを１階に移設し，見学時の動線を見直すとともに，見学コースと執務スペースとの分離を行った。

（４）迅速，的確，誠実な視聴者対応

電話，メール，手紙，来局などにより松山局へ寄せられた質問・意見・要望は，年間で２万44件に上り，各部と連携して迅速かつ的確に対応するとともに，番組や業務改善などに反映させた。

〔高知局〕

地域に親しまれる放送局として１階ハートプラザギャラリーを広く市民に開放，作品発表の場としたほか，試験放送開始に合わせ「スーパーハイビジョンコーナー」を新設，超高精細映像を気軽に視聴できる場を提供した。また，地域の商店街イベントにも積極的に参加し，小学生を対象に番組作りを体験してもらった。四国最大級の漫画イベント「まんさい」では，NHKブースを出展。最新鋭のVR（バーチャル・リアリティー）を使った「謎解きゲーム」を展開し，10～20代の若年層へのアプローチを仕掛けた。

〔徳島局〕

５月に徳島局ロビーで「大河ドラマ特別展『真田丸』全国巡回展」を開催。ドラマの見どころの映像紹介や，衣装・小道具の展示などを行い約1,200人が来場した。７月に大学生を対象とした「NHK大学セミナー」を徳島文理大学で実施。英語を使いながら国際コミュニケーションを養う内容で，会場は満員となった。

８月には，「熱演！真昼の阿波おどり2016」を３日間にわたって徳島放送局で開催し，来館者は１万人近くに上った。阿波踊りの繊細かつ大胆さをイラストで表現したイベントPRポスターを作成し，徳島県指定無形民俗文化財の阿波木偶（でこ）「三番叟（さんばそう）まわし」の披露，18年に「ベートーベン第九アジア初演から100年」を迎える鳴門市の団体が出演し，「第九」と「阿波踊り」の融合を披露した。イベントの様子は，Eテレで県内向けに放送し，出演連の演舞はホームページでも公開した。同じく８月，リオ五輪バドミントン女子ダブルスで金メダルを獲得した徳島出身・松友美佐紀選手ペアの準決勝・決勝のパブリックビューイングを実施した。

〔高松局〕

４月に高松市の目抜き通りの商店街で，試験放送を前に，８Kを体感できる「NHKフェスティバル」を開催し，３日間で１万6,000人の参加があった。試験放送開始後には，会館ロビーを改装して本格的な「SHVシアター」を設け，リオ五輪や大相撲などの公開もあり，16年度末までに2,000人近い観客が訪れた。

また，会館内のふれあいギャラリーは，地域の文化サークルなどの団体による展示会や作品発表の場として，年間23回（うちNHK主催「ぼくの絵わたしの絵展」１回）実施，4,637人の入場者があった。

17年度のローカル番組改定に向け，SNSを使った番組広報にも取り組んだ。

２．イベント事業

16年度，四国地方では116件のイベントを実施し，20万8,000人の視聴者が参加した。

（１）全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『新･BS日本のうた』『歌う！SHOW学校』『俳句王国がゆく』など22本の全国放送公開番組を四国４県で実施した。

（２）教育・こどもイベント

「全国学校音楽コンクール」「放送コンテスト」「放送体験クラブ」（四国各局），「第49回放送教育研究会四国大会愛媛大会」（松山局），「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト四国地区大会」（松山局）などの教育イベントを実施するとともに，「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（松山局），「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（徳島局），「ガラピコぷ～小劇場」（四国各局）などの子ども向けイベントを実施した。

（３）展覧会

「第63回日本伝統工芸展」（松山・高松局）を実施し，地域の文化振興に寄与した。

（４）音楽イベント

地元クラシック音楽ファンからも期待の高い「N響松山定期演奏会」（松山局）を実施するとともに，N響メンバーが学校を訪ねる「学校にN響メンバーがやって来た」（松山局）を実施し，地域の音楽文化の振興に寄与した。

（５）福祉・キャンペーンイベント

「歳末・海外たすけあい」（四国各局），「ふるさとの食　にっぽんの食」地域フェスティバル（松山・徳島局），防災キャンペーン（松山局）などと連動したイベントを実施した。

（６）スポーツイベント

「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」（松山局），「ラジオ体操・みんなの体操会」（高知・高松局）のほか，「各県サッカー選手権大会（天皇杯県代表決定戦）」（四国各局），「NHKジュニアバレーボール教室」（高知局），地域放送局杯各種スポーツ大会などのスポーツイベントを実施し，スポーツ文化の振興に寄与した。

（７）地域への貢献イベント

「Discover四国」キャンペーン関連イベントとして「NHK WORLD『HAIKU MASTERS』トークセッションin松山・JAPAN」（松山局），「Discover四国コンサート」（四国各局）を実施した。また，「NHKそれいけ！俳句キッズ」（松山局），「NHKリアル謎解きゲーム　謎はすべて解けるか？」（高知局），「８Kで見て・聞いて・感じる“元祖・植物男子”マキノの世界」（高知局），「みちしるべコンパスをつくろう！粟島探検★ワークショップ」（高松局）など，四国の風土や文化を伝えるイベントを実施し，地域の文化振興への一助とした。

３．営　業

３か年経営計画の２年目にあたる16年度は，受信料の公平負担に向けて「支払率の向上」と「衛星契約割合の向上」に継続して取り組んだ。16年度は年度初めから訪問要員が不足し，体制の整備に努めた。下半期には新たに法人委託事業者９社と委託契約を締結し，16年度末で13社，16エリアとなった。加えて四国内を広範に活動する法人委託事業者を１社増やして２社とし，11月から運用を開始した。

また，業績確保のため，年度を通して職員による事業所取り次ぎに注力した。各局の計画的な対策と共に，合同の集中対策を行い，職員取り次ぎ数は15年度に比べ倍増した。世帯数が減少する中での受信契約数増加の大きな要素となった。

受信料制度の理解促進と受信料収入の増収に向け，部門を超えた「ターゲット80」活動を展開した。地域発ドラマを活用したケーブルテレビ事業者との連携や，受信契約理解促進スポットを作成し，大学生協や不動産業者との関係を強め，訪問によらない取り次ぎの向上につなげた。

このほか，民事手続きにおいては支払い督促に加え，四国初となる放送受信契約未契約世帯に対する提訴を行った。更に，民事調停を利用した事業所契約の適正化を進めるなど，公平負担の徹底に努めた。

九州・沖縄

◇４月の熊本地震では，全国からも応援を得て，ブロックが一丸となって災害報道および電波確保に取り組んだ。以降，９月の防災の日前後や10月の地震から半年での関連番組の集中編成をはじめ，継続的に被災地の復興に役立つ放送・イベントなど諸施策を実施した。

◇台風や大雨，火山活動などの自然災害，事件・事故，参議院議員選挙ほか選挙報道にもブロックが連携して的確に対応した。金曜夜間の新番組『なるほど実感報道ドドド！』では地域の暮らしに密着したテーマに取り組んだほか，地域ドラマなど多彩な番組で地域の魅力を発信した。夕方６時台では，福岡・北九州局が４日間，上海からの生中継を実施するなど，各局とも地域のメインニュースとして内容強化に努めた。

◇営業業績は，震災の影響が大きい熊本を除いても全目標を達成できなかったが，民事訴訟の提起などに取り組んだ。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

（１）熊本地震

16年４月，震度７の揺れを２度にわたって観測する熊本地震が発生した。14日午後９時26分ごろ，熊本地方の深さ約11キロを震源とするマグニチュード6.5の地震が発生し，熊本県益城町で震度７の揺れを観測した。その28時間後の16日午前１時25分ごろ，前震を上回るマグニチュード7.3の地震が発生し，益城町と西原村で震度７の揺れを観測した。また，大分県中部では直後に別の地震が発生して最大で震度６弱の揺れを観測し，その後も熊本県を中心に地震が相次いだ。

一連の地震で熊本県と大分県では，17年５月16日現在，災害関連死も含めて合わせて228人が亡くなり，住宅被害は熊本県と大分県を中心に19万棟余りが全壊や半壊，一部損壊となる甚大な被害が出た。また，仮設住宅で暮らしている人は，みなし仮設への入居者も含め地震から１年の時点で４万人を超えている。避難生活が長期化する中，いわゆる孤独死も確認されており，被災者のケアが課題となっている。

一連の地震の発生当初から，熊本局を中心に，福岡や東京など全国からの応援を得て，全国放送や九州・沖縄ブロック，熊本単の各放送枠を組み合わせてきめ細かく情報発信した。また，『NHKスペシャル』「緊急報告　熊本地震」「活断層の村の苦闘～熊本地震・半年間の記録～」など，より深い取材と内容を交えた番組を発信した。さらに，九州・沖縄ブロックの『なるほど実感報道ドドド！』では，地震から２週間，３か月などの節目に被災地の現状や課題を掘り下げて伝えた。一方，熊本単ではシリーズで『被災地からの声』を放送し，被災者に寄り添う取り組みを続けた。

（２）災害・気象

九州各地は火山活動も活発だった。10月８日午前１時46分ごろ，熊本県の阿蘇山で爆発的噴火が発生し，噴火速報が発表された。気象庁は改めて火口周辺警報を発表し，噴火警戒レベルをレベル３の入山規制に引き上げた。人的被害はなかったが，周辺では火山れきで窓ガラスが割れる被害が出たほか，火山灰による停電や農作物への被害が出た。NHKは各地の火山の周辺にロボットカメラを設置し，火山の状況を必要に応じてきめ細かく伝えた。

台風の上陸・接近も相次いだ。このうち台風18号は，中心気圧が一時905hPaまで低下し，気象庁は10月３日午後７時２分，沖縄本島地方に大雨・暴風・波浪・高潮の特別警報を発表した。最も接近した久米島では４日未明に最大瞬間風速が60m近くに達し，人的被害はなかったものの，電柱が折れたり住宅の瓦が飛ばされたりする被害が出た。

（３）選挙報道

16年６月に沖縄県議会議員選挙が行われ，アメリカ軍普天間基地の移設計画の是非が最大の争点となった。結果，翁長知事を支える県政与党が議席を増やし，過半数を維持した。NHKでは，事前の情勢取材・期日前調査を基に，５日の開票開始直後から当選確実を打ち出した。開票が佳境を迎える午後10時台と，午前０時台にそれぞれ開票速報番組を放送した。

７月10日に参議院議員選挙が行われ，九州・沖縄８県では，自民６，民進２，公明１，無所属１となった。福岡，佐賀，熊本，宮崎，鹿児島，沖縄の６選挙区で午後８時に当確を打ち出した。長崎は民進党候補者の票の出方を見極め，８時41分に当確を打ち出した。大分は最終盤までもつれたが，他社に先駆けて11時42分に民進党候補に当選確実を放送した。１人区では，大分と沖縄で野党系候補が勝利し，それ以外は自民党候補が勝利した。同日に行われた鹿児島県知事選挙では，４期

目を目指す現職が敗れ，新人が勝利した。NHKでは，事前の情勢取材や期日前出口調査などから，午後８時に新人の当選確実を打ち出した。

10月，衆議院福岡６区補欠選挙が行われ，元大川市長で，亡くなった鳩山邦夫元総務大臣の次男の鳩山二郎氏が初当選した。NHKでは，事前の情勢取材や期日前出口調査などを基に，午後８時に当選確実を打ち出した。当日は，午後９時台，午前０時台に開票速報番組を放送したほか，随時，全中ニュースに参加した。

11月，大分県姫島村で61年ぶりとなる村長選挙が行われた。無投票当選が続いてきた背景や，候補者の訴えに焦点を当てたリポートを制作し，投開票日の翌朝に放送した。

11月，鹿児島市長選挙が行われ，現職が４回目の当選を果たした。事前の情勢取材や期日前出口調査などから，午後８時に当選確実を打ち出した。

17年１月，北九州市議会議員選挙が行われ，定数が削減される中，自民は現職２人が落選した一方，公明は擁立した候補者全員が当選した。民進党は現状維持，日本維新の会は選挙前の議席をすべて失う一方，共産党は前回の選挙で失った議席を回復した。

（４）事件・事故

16年４月，沖縄県うるま市でウォーキング中の20歳の女性会社員が行方不明になり，５月，米軍属の男の供述から恩納村の雑木林で女性の遺体が見つかった。男は乱暴しようとしたうえ殺害したとして殺人などの罪で逮捕・起訴された。事件を受け沖縄では改めて基地への反発が強まり，６月には大規模な抗議集会も開かれた。

５月，特定危険指定暴力団工藤会（北九州市）の傘下の暴力団幹部の裁判を巡り，裁判員が被告の知人の元暴力団員ら２人から「あんたら裁判員やろ」などと声を掛けられた。２人はその後，裁判員への威迫や請託を禁じた裁判員法違反容疑で逮捕され，執行猶予付きの有罪判決を受けた。全国初のケースで裁判員の安全確保が課題となった。

６月，85年に熊本県松橋町（現・宇城市）で起きた殺人事件について熊本地方裁判所が再審を認める決定を出した。熊本市の83歳の男性は殺人などの罪に問われ，裁判の途中から無実を訴えたが懲役13年を言い渡されて服役した。熊本地裁は「自白の重要な部分に客観的事実と矛盾がある」などと指摘した。検察は決定の取り消しを求めて即時抗告した。

８月，大分県の別府警察署の捜査幹部らが参議院議員選挙での選挙違反の捜査で労働団体の敷地に無断で立ち入り隠しカメラを設置していたとして建造物侵入容疑で書類送検された。また，関係した警察官や上司が処分された。４人はその後，略式起訴された。この事件は国会でも取り上げられ，警察庁はカメラの適正使用を全国の警察に通達した。

８月，福岡市東区の海の中道大橋で幼いきょうだい３人が犠牲になった飲酒運転の事故からちょうど10年を迎えた。福岡県では15～16年と２年続けて飲酒運転による事故の件数が増加し，悲惨な事故の記憶が風化していると指摘された。

10月，北九州市の産業医科大学病院で，患者に投与中の点滴と未使用の点滴の容器に針のような物で穴が開けられているのが見つかった。患者への影響はなかったが，病院では11月にも同じように点滴の容器に穴が開けられた。警察は内部の事情に詳しい人物による犯行とみて器物損壊容疑で捜査を始めた。

11月，博多駅前の道路が大規模に陥没した。市営地下鉄の延伸工事が原因だった。NHKは，現場を見下ろすビルの屋上に高感度カメラを設置し，放送に活用したほか，福岡局のホームページでライブ映像を伝えた。大都市の駅前で道路が陥没するという前代未聞の事故は，全国的に関心を集め，現場が埋め戻される１週間後の15日にかけて，ローカルニュースのほか，『NHKニュースおはよう日本』『NHKニュース７』『ニュースウオッチ９』などで中継を交えより深く伝えた。さらに，周辺の防犯カメラの映像などを入手し，陥没の直前から陥没の瞬間まで，さまざまな角度からの映像で伝えた。さらに１か月後，事故原因や責任の所在，損害賠償などに焦点を当てた『クローズアップ現代＋』（12.15）を放送した。

12月，福岡市博多区の病院にタクシーが突っ込み，入院患者と見舞いに訪れていた夫婦の３人が死亡，７人が重軽傷を負った。逮捕された64歳の運転手は「ブレーキが利かなかった」と供述したが，警察などは運転記録装置のデータから「アクセルが踏まれていた」と判断した。その後，運転手は過失運転致死傷の罪で起訴された。

12月，福岡市博多区で約６億円分の金塊が盗まれる事件が起きていたことが明らかになった。事件が起きたのは７月。日中，博多駅近くのビルで男性らが金塊を貴金属店に持ち込もうとしていたところ，密輸品捜査の警察官を装う男らのグループに声を掛けられ盗まれた。高値が続く金を巡る事件が相次ぐ中，巨額盗難事件として全国的にも注目を集めた。

（５）地域の課題とスポーツ

７月，「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界文化遺産への登録を目指して推薦されることが決まった。ユネスコの諮問機関から推薦内容を見直すよう指摘されたことから，いったん推薦を取り下げ，構成資産を14から12に見直して，18年の世界文化遺産登録を目指すことになった。

12月，沖縄県の普天間基地の名護市辺野古への移設を巡って，最高裁は，翁長知事が埋め立て承認を取り消したのは違法だとする判決を言い渡した。17年２月，沖縄防衛局は辺野古沖にコンクリートブロックを投入し，埋め立て工事に着手した。政府と沖縄県の対立はさらに深まった。

１月，佐賀県にある玄海原子力発電所３・４号機について原子力規制委員会は，再稼働の前提となる新しい規制基準の審査に合格したことを示す審査書を正式に決定した。地元の同意を経て，九州では鹿児島県の川内原発に続く再稼働は17年の夏以降になる見込みとなった。

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開かれ，体操男子では長崎県出身の内村航平選手が団体と個人総合の２種目で金メダル，柔道男子73キロ級でも宮崎県の旭化成に所属する大野将平選手が金メダルに輝いた。また，パラリンピックでは女子マラソンの目に障害のあるクラスで福岡県の道下美里選手が銀メダルを獲得した。

（６）地域放送

総合テレビは，平日午後６時台のニュース・情報番組，『はっけんTV』などで地域のニュースや話題，生活に身近な情報をきめ細かく伝えた。金曜夜間は新しいスタイルの報道情報番組『なるほど実感報道ドドド！』の生放送，大型企画やプロ野球ソフトバンク戦などを編成，域内では大分局が『フカナビ！オオイタ』を新設した。地域が抱える課題や関心が高いテーマを掘り下げ，若者など視聴者と地域の未来を考える番組づくりを行った。

ラジオでは平日午後５時台の『はっけんラジオ』を継続するとともに，熊本地震を受けて，“地域の安全・安心ラジオ”としての機能強化，福岡など拠点局に広がったインターネットラジオ「らじる★らじる」の普及に努めた。

水俣病公式確認60年や有田焼創業400年の関連番組，地域ドラマ（福岡，宮崎），「ダイスキ！フェス」など九州・沖縄らしさを前面にした番組に加え，西日本新聞社との共同企画「こどもの貧困」や在福民放ラジオ局との共同キャンペーン「＃フクラジ」など，地域メディアと連携した企画にも取り組んだ。

熊本地震発生直後は，全国からの応援を受けながら九州・沖縄が一丸となって災害報道，ライフライン放送などを実施し，命と暮らしを守る公共放送の役割に徹した。震災からおおむね２か月を経過して当初の番組編成に復した。10月には，全国放送を取り込みながら熊本地震から半年の集中編成を行い，被災者の暮らしの変化や復興に向けて立ち上がる地域の姿，九州全体の観光・経済・産業への影響など現状と課題を多角的に伝えた。熊本地震については，年間を通じた取材・制作により被災地の復興支援に資する多様な番組を放送するとともに，各局が定時番組においても防災・減災意識の高まりに応える企画を届けた。

（７）上海キャラバン

福岡局と北九州局は３月，夕方６時台のニュースを『ロクいち×ブリッジ　上海』と銘打って４日間にわたって中国・上海から放送した。17年が日中国交正常化から45年，日中戦争が始まって80年の節目であることに加え，クルーズ船で福岡を訪れる中国人観光客が年々増加していることに併せて実施した。放送では，経済や観光だけでなく，日中の歴史についても取り上げ，尖閣諸島の国有化の影響などで両国関係が厳しい中で，国と国の立場だけでなく，地域ならではの視点から，地域と地域，人と人の結び付きの重要性を伝えた。

中継は外灘を見渡せる黄浦江のほとりにあるホテルの屋上から行い，福岡局と北九州局からキャスター，記者，ディレクター，技術職員など16人を派遣したほか，上海テレビの子会社からスタッフや機材を借りて実施した。期間中，福岡局長らが上海テレビを訪問し，協力関係を深めていくことで合意した。

地域の放送局がニュース番組を４日間にわたって海外から放送する取り組みは初めてで，視聴者から好意的な意見が多く寄せられた。

２．地域放送番組

（１）定時番組

〔九州・沖縄ブロック〕

『なるほど実感報道ドドド！』　新　G

金　19:30～19:56

㊫　日　7:45～ 8:11

第１回16.4.22／生放送の報道情報番組。ドうなってるの？　ドうしてなの？　ドうすればいいの？　という３つの“ド”を使って，地域の課題や事件・事故，話題のテーマを取り上げ，より親しみやすく分かりやすいスタイルで伝えた。／各局タイトル：北九州『北九州×クロス』，熊本『く

まもとの風』，長崎『長崎人（じげもん）』，鹿児島『かごスピ』，宮崎『宮崎熱時間』，大分『フカナビ！オオイタ』新，佐賀『佐賀イズム』，沖縄『きんくる～沖縄金曜クルーズ～』。

『アサタビ！』　新　G　　日　7:45～8:10

第１回16.5.8／温かい出会いを求めて九州・沖縄８県を巡る旅番組。毎回俳優・タレントが旅人となって魅力あふれる地域の人々，自然・歴史・食べ物などを訪ねた。とっておきの風景や名物を紹介するアサ自慢のコーナーも好評だった。（年間８本）

『おはサタ！』　G　　土　7:30～ 8:00

第１回14.4.5／地域の話題をより深く，より魅力的に伝えるニュース情報番組。九州・沖縄ゆかりの著名人とのトークや「西日本の旅」，特集企画や各地からの生中継などで構成した。気象コーナーはデータ放送の双方向ボタンを使った視聴者参加型とした。

『はっけんTV』　G

九州ブロック　月～金　11:30～11:45
福岡県域　　月～木　11:45～12:00
福岡単　　金　11:45～12:00

第１回13.4.3／九州・沖縄“８県（はっけん）”の今を“発見（はっけん）”する番組。各県の行楽・イベント情報，わがまち自慢など，九州・沖縄のネットワークを生かして生放送で伝えた。福岡・北九州局は，11時45分から引き続き県域（金曜は単）で，料理や健康など暮らしに役立つ身近な情報を伝えた。／各局タイトル：北九州『きたきゅう　たいむ』，熊本『テレメッセくまもと』，長崎『ながさきナビゲーター　ヒルミテ』，鹿児島『ひるまえクルーズかごしま』，宮崎『昼前ほっとみやざき』，大分『好きっちゃ　おおいた』，佐賀『ひるまえ情報便』，沖縄『沖縄ちゅらTV』

『おはよう九州沖縄』　R1

月～土　7:40～ 7:58

九州・沖縄のニュースや気象・交通情報，地域のホットな話題で構成する生活情報番組。

『はっけんラジオ』　R1

月～金　17:00～17:55

第１回13.4.1／各地の自治体や防災士などとの関係づくりを進め，ふだんからラジオを聴いてもらうことで，“地域の安全・安心ラジオ”の機能強化に努めた。ニュース・気象予報や防災対策情報に加え，身近な地域の情報や娯楽性のある企画などを，福岡局のスタジオから生放送で伝えた。16年度も九州･沖縄各県の放送局（北九州を除く）から出前放送を行った。

〔県域〕

『ロクいち！福岡』　G

福岡単　月～金　18:10～19:00

第１回15.3.30／福岡のその日の出来事を，いちばん早く，いちばん詳しく，いちばん分かりやすく伝える「地域いちばん」のニュース番組を目指した。事件・事故等の最新情報，人々の暮らしに直結する重要課題の行方，東京や世界などの動きと福岡との関わり，スポーツ，街角情報などを分かりやすく伝えた。／各局タイトル：北九州『ニュースブリッジ北九州』，熊本『クマロク！』，長崎『イブニング長崎』，鹿児島『情報WAVEかごしま』，宮崎『イブニング宮崎』，大分『しんけんワイド大分』，佐賀『ニュースただいま佐賀』，沖縄『おきなわHOTeye』。

『NHKニュース　おはよう日本』　G

福岡県域，各局単　　月～金　7:45～ 7:51
九州・沖縄ブロック　月～金　7:51～ 8:00

第１回93.4.5／福岡県域・各局単の時間帯は，各県のニュース・気象情報。ブロック時間帯は，各局のネットワークを生かした広域ニュースやリポート企画で構成。

（２）特集番組

〔九州・沖縄ブロック〕

『福岡発地域ドラマ「たからのとき」』　G

1.27／19:30～20:43

第１回02.11.22／九州・沖縄ブロック／地域放送局ならではの視点で，舞台となる地域の文化や歴史，自然を背景に，そこに住む人々と共に，さまざまな人間ドラマを描いてきた。14作目「たからのとき」は東峰村が舞台。村のケーブルテレビディレクターとして奮闘する母・たからと娘・みのりの葛藤，家族の絆を描いた。／脚本：谷口純一郎／音楽：濱田貴司／出演：寺島しのぶ，美保純，佐々木すみ江，山崎銀之丞，東峰村の皆さん

『九州沖縄ミライ語りっ！』　G

金　19:30～20:42

若者たちが九州沖縄の抱える問題や身近なテーマを討論形式で考える大型企画。「どうする！？米軍基地」（9.30），「“絶食化”するニッポン！？～恋愛も結婚もしない！？～」（2.24）の２本を放送した。

『ガレッジ　a　Go！Go！　秋の九州　絶景ドライブ』　G　　（福岡）10.28／19:30～20:42

秋の行楽シーズンに向けて九州の観光地を紹介する旅番組。おなじみのガレッジセールが大分県から熊本県まで国道57号線沿いにドライブしながら隠れた名所を訪ねたり，熊本地震の被災地に立

ち寄ったりし，復興の様子や人々の暮らしぶりを伝えた。

『九州沖縄　勝手に○○アワード』　G

（福岡）12. 2／19:30～20:42

NHKが伝えたニュースの中から，ほかの県ではあまり知られていないが心温まるユニークな話題を選んで，ニュースの“その後”をお笑い芸人がプレゼン形式で伝えるバラエティー企画。データ放送の視聴者投票とスタジオ審査員の投票を基に，勝手に賞を贈りながら１年を振り返った。

『熊本地震　被災地からの声』　G

（熊本）　5.13／20:00～20:43
9.3／17:06～17:29（防災の日関連集中編成）

震災当初から熊本局が県内向けに放送している「被災地からの声」を九州沖縄向けに放送し，被災者の暮らしぶりや復興の課題などを広く伝えた。

『平成２８年沖縄全戦没者追悼式』　G

（沖縄）　6.23／11:45～11:54
※12:20～12:45で全国放送
沖縄は県域で11:54～12:20でマルチ編成

『長崎原爆の日～被爆の記憶　未来へつなぐ～』　G　（長崎）　8. 9／18:10～18:45

『明日へつなげよう　明日へつなげるライブ』　G

（熊本）　9. 3／17:30～18:00

『郷土出身力士勢ぞろい！　祝60回！大相撲九州場所　直前スペシャル　』　G

（福岡）11.12／10:05～10:53

『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016　九州沖縄地区大会』　G

（福岡）11.13／11:00～11:54

『ダイスキ！フェス』　G

（福岡）　3.16／19:30～20:43

旅立ちの春に贈る九州・沖縄ゆかりの豪華アーティストよるスペシャルライブ番組。２年目となる今回は，熊本地震被災者へのメッセージ，学生たちとアーティストのコラボレーション企画を取り入れ，巣立っていく若者たちに歌のエールを生放送で届けた。／司会：西内まりや，博多華丸・大吉，出演／C&K，藤原さくら，BLUE ENCOUNT，ふわふわ８，森高千里，三浦大知，HKT48，くまモン／リポーター：ケン坊田中

『世界遺産への道』　G

（福岡）土　　12:40～12:45
日 5:55～ 6:00ほか

世界遺産登録を目指す各地の文化的遺構を紹介するミニ番組。「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」シリーズ７本を放送した。

『大相撲　伝統を支える職人』　G

（福岡）　1.10～ 1.12

11月の大相撲九州場所に併せて制作した『ロクいち！福岡』のコーナー企画をミニ番組化。「博多織」「のぼり旗」「日本刺しゅう」「土俵ぐわ」「博多人形」の５本をシリーズで放送した。

〔各県域〕

〔福岡局〕

『ふく！なび』　G

福岡単　（月２本）水　20:43～20:45ほか

第１回11.10.12／福岡単または福岡県域／視聴者に親しまれる放送局を目指し，NHKのさまざまな取り組みを紹介する経営広報番組。地域放送の目玉番組やスーパーハイビジョンの魅力，営業活動，イベント展開など，“いま知ってもらいたいイチ押しの取り組み”を紹介した。

『博多祇園山笠2016』　G

7.15／ 4:30～ 6:00

『中継スペシャル　大濠花火大会』　G

8. 1／20:00～20:44

『福岡ダイスキ☆ランキング』　G

（年５本）　22:40～22:50ほか

『福岡ダイスキ☆ランキングSUPER』　G

3.14／22:25～23:00

『フォーラム　がんと生きるin福岡～最新治療と支持療法～』　E　1.29／15:00～15:59

『ライフ・サポーター　あなたを守る防災ラジオ』　R1　3. 4／12:15～12:55

『そばにおいで！　#フクラジ　ファイナル』　R1　3.14／20:05～20:55

〔熊本局〕

『熊本地震　被災地からの声』　G

（７月まで毎週，８月から最終）
土　11:00～11:23

被災者が何を求め，何に怒り，何を考えているのか。発災直後から避難所で不自由な生活を送る人や自宅が倒壊した人，余震におびえ車中泊する人など，ニュースでは伝え切れない被災者の心の声に耳を傾けた。

『くまもとの風スペシャル「水俣病　魂の声を聞く～公式確認から60年～」』　G

6.19／13:05～13:48

40年間に500人以上の証言を集め，全６巻の「水俣病の民衆史」にまとめた岡本達明さん81歳。加害企業・チッソの社員で労働組合の活動をしながら聞き書きを始めた。水俣病公式確認から60年を録音された肉声と新たな証言でたどった。

『水俣病60年　NHKが見つめた水俣』　G
（年４本）　5.15／13:50～14:56ほか
『2016　防災・命のラジオ』　R1
9. 1／12:20～13:00
『こころの言葉　いのちの話～熊本地震と水俣病60年～』　FM　1.27／18:00～19:00
熊本地震の被災者からのメッセージや復興を願う歌，公式確認から60年を迎えた水俣病についての絵本の朗読を通して，大きな傷痕を残した熊本地震と水俣病について触れ，命の尊さを考えた。12月に熊本局で公開収録。

〔長崎局〕
『生中継　長崎くんち2016』　E
10. 7／ 7:00～10:16
『被爆体験記　朗読シリーズ「ナガサキ　被爆の記憶」』　R1・FM
7.21～22，25～29，　8. 2～ 4／11:55～12:00
『長崎人（じげもん）　遠藤周作“沈黙”刊行50年　長崎がわたしに教えてくれた』　G
12. 9／19:30～19:56
『もしも、長崎が日本の中心だったなら』　G
金　19:30～19:56
「もしも、長崎が日本の中心だったなら」 6.17
「お祭り」　10.21
「どうする！？肥満大国☆長崎」　2.17
『平和のしゃべり場』　G　3.17／19:32～20:45
『祈りの島を訪ねて～五島列島～』　G
3.20／ 8:15～ 8:55

〔鹿児島局〕
『鹿児島どげんすっとね！？～若者のホンネ×地方のリアル』　G　10.28／19:30～20:43
『笑顔の理由（わけ）を探して～女優・羽田美智子　奄美の旅～』　G　11.20／13:05～13:50
『かごしまの宝　“食”が変わればミライが変わる！』　G　3. 3／19:30～20:42
『鹿児島防災シンポジウム～巨大地震　その時何が～』　G　3.18／10:05～11:18
『第20回かごしま郷土芸能～輝き続ける　ふるさとの宝～』　G
（前編）10.30,（後編）11. 6／13:05～13:50
『かごしまの夕べ～大河まで、あと１年！　「西郷どん」スペシャル！』　FM
1.25～27／18:00～18:50

〔宮崎局〕
『宮崎熱時間』　G　金　19:30～19:58
（『宮崎のふたり～宮崎発地域ドラマ～』関連）
「大地に絵をかいた男　岩切章太郎」　9.23
「家族、走る、絆。～密着！青島ペアマラソン～」
11.11
『Ｍｉｙａｚａｋｉ　Ｂａｓｓ　Ｃａｍｐ　Ｖｏｌ．６』　FM
（前編）　6.26／22:30～23:30
（後編）　7. 3／22:30～23:30
『Ｍｉｙａｚａｋｉ　Ｄｒｕｍｍｅｒ’ｓ　Ｃｌｕｂ　Ｖｏｌ．１０』　FM
（前編）10. 9／22:30～23:30
（後編）10.16／22:30～23:30

〔大分局〕
『フカナビ！オオイタ』　新　G
（大分）（年９本）金　19:30～20:00
めまぐるしく変貌を遂げる大分の“今”を深く掘り下げ，指針を示すナビゲーション番組。懸命に時代と向き合う人を見つめたドキュメンタリーや社会の深層を深く切り取る調査報道，さらには紀行からバラエティーなど幅広く取り上げた。
『大分スペシャル』　G
「“浦”によせる物語～作家・小野正嗣を育んだ蒲江～」　4. 9／10:05～11:18
「大分合同新聞社　共同企画　震度６弱は何を変えたか」　10.28／19:30～20:43

〔佐賀局〕
『さがスペシャル「有田焼ザ・ワールド～こんなトコロに有田焼！？～」』　G
7.31／13:05～13:50
『創業401年目に語る未来～ラジオ特集「有田の“これから”」』　R1　2. 4／ 9:05～ 9:55
『体感！快感！バルーンミュージアム開館！』　G　10. 1／10:55～11:25
『佐賀ラジオ防災特集「いま考える“命の守り方”　～地震・水害に備えるために～」』　R1
6.11／16:05～16:55
『生放送！今夜はラジオで佐賀の酒』　R1
8.29／21:05～21:55
『YUYAのオーレ！サガン鳥栖』　R1
月　19:45～20:00

〔沖縄局〕
『沖縄の歌と踊り』　G
（月１本）日　13:05～13:48
『世界に響け！沖縄のうた～世界のウチナーンチュ大会グランドフィナーレ～』　G
12.27／22:00～22:48
『正月特別番組　おきなわ新喜劇「世界のヤッケームン大会」』　G　1. 3／17:00～18:00
『沖縄ミュージックジャーニー』　FM
（第１）金　18:00～18:50

『うちなぁジョッキー～世界に伝えたい沖縄のうた～』　R1　8.27／13:05～14:55

『年末ラジオ特番・ラジオちゃんぷる～』　R1　12.26／17:00～17:55

〔各局共通〕

『第83回NHK全国学校音楽コンクール』

〔九州・沖縄ブロック〕

九州・沖縄ブロックコンクール
　小学校・中学校・高等学校の部　E　9.24／14:00～17:00

〔各県域〕

福岡県コンクール　E
　小学校　8.21／15:25～17:00
　中学校　8.21／12:00～14:30
　高等学校　8.21／17:50～18:30

熊本県コンクール　FM
　小学校（前半）　8.22／18:00～18:50
　小学校（後半）・高等学校　8.23／18:00～18:50
　中学校　8.24～26／18:00～18:50

長崎県コンクール　FM　8.28／14:00～16:00

鹿児島県コンクール　FM　8.28／14:00～15:55

宮崎県コンクール　FM　8.22～26／18:00～18:50

大分県コンクール　FM　8.28／12:15～15:55

佐賀県コンクール　FM　8.23／10:00～11:50

沖縄県コンクール　E
　小学校　8.21／12:30～14:00
　中学校　8.21／15:25～16:45

〔各局発全国放送〕

『平成28年沖縄全戦没者追悼式』（沖縄）
　G　6.23／12:20～12:45
　R1　6.23／12:20～12:55

『平成28年　長崎平和祈念式典』（長崎）
　G　8. 9／10:30～11:50
　R1　8. 9／10:55～11:34

『長崎原爆の日ラジオ特集「被爆劇～恵の丘長崎原爆ホームの舞台」』　（長崎）
　R1　8. 9／20:05～20:55

『NHKスペシャル』　G
「緊急報告　熊本地震～活断層の脅威」（福岡）4.16／21:00～21:50
「最新報告“連鎖”大地震　終わらない危機」（熊本）5.14／21:00～21:49
「私は家族を殺した～“介護殺人”当事者たちの告白～」（福岡・熊本）7. 3／21:00～21:49
「あなたの家が危ない～熊本地震からの警告～」（福岡）10. 9／21:00～21:49

『クローズアップ現代＋』　G　22:00～22:25
「“連鎖”大地震　いのちの危機～現場からの最新報告～」　4.18／22:00～23:10（拡大）
「５万人避難　命をつなげ～“連鎖”大地震最新報告～」　4.26
「徹底追跡　北朝鮮」　5.10
「地震列島“新たなリスク”～南阿蘇からの警鐘～」　7.14
「“戦場の悪夢”と金メダル～兵士とパラリンピック～」　9.12
「オスプレイ重大事故　広がる波紋」　12.20
「家で最期を迎えたい～広がる在宅医療の陰で～」　2.16

『目撃！日本列島』　G　土　11:30～11:53
「娘に伝える“仕事道”～ボートレース母娘対決！～」（福岡）5.28
「書道ボーイズの青春」（福岡）7. 2
「“老犬ホスピス”　いのちを看取（みと）る」（宮崎）7.16
「はじめまして　僕のふるさと～移民３世　おじいと旅した沖縄～」（沖縄）11.26
「シリーズ　地震に負けない」（１）
　「由布院は元気です～熊本地震から５か月　再起をかけて～」（大分）9. 3

『NEXT　未来のために』　G　17:30～17:59
「沖縄“移設先”の町で　ある親子の選択」（沖縄）4. 9
「熊本地震２か月～癒えない心の傷　密着　日赤こころのケアチーム」（熊本）6.11
「熊本地震２か月～埋もれかけた“小さな声”災害ボランティア　手探りの支援」（熊本）6.12

『にっぽん紀行』　G　18:10～18:43
「“命の動物園”へようこそ～福岡　大牟田～」（福岡）5. 4
「復興の歩みはコウモリとともに～噴火から１年　鹿児島口永良部島～」（鹿児島）7.23

『ドキュメント72時間』　G　金　22:50～23:15
「火山の島　フェリーにゆられて行ったり来たり」（鹿児島）6.17
「宮崎　路上ピアノが奏でる音は」（宮崎）1.27
「別府　百年の温泉で」（大分）2.10

『ファミリーヒストリー』　G　19:30～20:15
「財津和夫～熊本藩士の誇り　新天地に切り開く～」
（福岡）9. 8
「財前直見～飛び乗った列車　故郷大分への思い～」
（大分）10.13

『プロフェッショナル　仕事の流儀』　G
月　22:25～23:14
「諦めるな、それが魚屋の心意気」
（宮崎）11.21

『有田焼400年　世界を魅了する日本の美～柿右衛門　そして未来へ～』　G
（福岡）12.24／ 8:45～ 9:39

『今夜も生でさだまさし』　G
「佐賀しものは有田ましたか！？」
（佐賀）4.24／ 0:10～ 1:45

『小さな旅』　G
「いつもの温泉で～大分県　別府市～」
（大分）4. 3／ 8:00～ 8:25

『インタビュー　ここから』　G
「松田丈志」　（宮崎）1. 9／ 6:30～ 6:53

『ETV特集』　E　土　23:00～23:59
「水俣病　魂の声を聞く～公式確認から60年～」
（熊本）5.28
「つかさ18歳　人生を取り戻したい～被虐待児２年間の記録～」　（熊本）6.18
「54枚の写真～長崎・被爆者を訪ねて～」
（長崎）8. 6

『人生デザイン　U－29』　E
火　23:00～23:25
「トンネル工事・現場監督」　（長崎）6.21
「農業兼モデル」　（佐賀）1.24
「書店店長・ライター」　（福岡）1.31
「服デザイン・製作」　（大分）2.14

『日曜美術館』　E　日　9:00～10:00
「沖縄　見つめて愛して　写真家・平敷兼七（へしきけんしち）」　（沖縄）6.19

『サイエンスZERO』　E　日　23:30～24:00
「“超巨大噴火”の脅威～薩摩硫黄島～」
（鹿児島）5.15

『こころの時代～宗教・人生～』　E
日　5:00～ 6:00
「母なる神への旅～遠藤周作“沈黙”から50年～」
（長崎）11.27

『超人たちのパラリンピック』　BS1
「車いすレース　上与那原寛和」
（沖縄）5. 1／21:00～21:49

『アスリートの魂』　BS1　土　0:00～ 0:45
「私のままで跳ぶ　義足のジャンパー　中西麻耶」
（大分）6.11
「沖縄の誇り　背負って　空手家・喜友名諒」
（沖縄）12. 3

『明日世界が終わるとしても』　BS1
「ペン１本　まだ見ぬ頂へ」
（佐賀）12.29／21:00～21:49

『宮崎のふたり～宮崎発地域ドラマ～』　BSP
（宮崎）10.19／22:00～22:59

『博多祇園山笠2016』　BSP
（福岡）7.28／17:00～17:59

『豪華けんらん　長崎くんち2016』　BSP
（長崎）10.24／15:00～16:24

『新日本風土記』　BSP　金　21:00～21:59
「筑豊」　（福岡）6.24
「北九州」　（北九州）9.30
「湯布院」　（大分）12. 2

『ラジオ文芸館』　R1
「碁盤の首」　（福岡）7. 9／ 8:05～ 8:45

『ガチゴエ』　R1
（沖縄）11.23／21:05～23:00
「奨学金に苦しむ若者たち」
「意識高い系と呼ばないで」

『18（イチハチ）voice～18歳の羅針盤～』　R1
（福岡）1. 9／20:05～21:55

『邦楽のひととき』　FM　11:20～11:50
「琵琶」　（福岡）9.28
「箏曲・尺八」　（福岡）1.16

『FMシアター』　FM
「風は夢をのせて」
（佐賀）4.23／22:05～22:55
「船出のキック」（長崎）6.25／22:00～22:50

『こころの言葉いのちの話　朗読と音楽のひととき～熊本地震と水俣病60年～』　FM
（熊本）3.21／17:00～18:00

３．スポーツ中継

〔高校野球〕

第98回全国高校野球選手権大会・地区大会

福岡大会	準決勝	G・E・R1／ 7.29
	決勝	G・E・R1／ 7.30
熊本大会	準決勝	G・E・R1／ 7.25
	決勝	G・E・R1・FM／ 7.26
長崎大会	準決勝	G・E・R1／ 7.23
	決勝	G・R1／ 7.24
鹿児島大会	準決勝	G・E・R1／ 7.23
	決勝	G・E・R1・FM／ 7.24

	決勝（再試合）	G・R1／ 7.26
宮崎大会	準決勝	G・R1／ 7.26
	決勝	G・R1／ 7.27
大分大会	準決勝	G・R1／ 7.23
	決勝	G・E・R1・FM／ 7.25
佐賀大会	準決勝	G・E・R1・FM／ 7.24
	決勝	G・R1／ 7.25
沖縄大会	準決勝	G・E・R1／ 7.16
	決勝	G・R1／ 7.17

第139回九州地区高校野球大会（大分）

準決勝	R1／10.27
決勝	R1／10.29
長崎大会	R1／10. 9～10
鹿児島大会	FM／10. 6，R1／10. 7
宮崎大会	R1／10.10
大分大会	R1／10. 1～ 2
佐賀大会	R1／10. 2，FM／10. 3

（県域）

NHK旗争奪鹿児島県高校野球大会

準決勝	R1／ 5.26
決勝	R1／ 5.27

〔プロ野球〕（九州・沖縄ブロック）

「ソフトバンク」対「楽天」	G／ 5. 6
「ソフトバンク」対「日本ハム」	G／ 7. 1
「日本ハム」対「ソフトバンク」	G／ 7.29
「ソフトバンク」対「ロッテ」	G／ 8.26

パ・リーグCSファイナルステージ第２戦

「日本ハム」対「ソフトバンク」	G／10.13
「ソフトバンク」対「ロッテ」	G／ 3.31

〔サッカー　Jリーグ（J1／J2）〕（各県域）

「福岡」対「新潟」	G／ 4. 2
「北九州」対「水戸」	G／11.12
「熊本」対「京都」	G／11. 6
「鳥栖」対「柏」	G／ 2.25
「福岡」対「大分」	G／ 2.26
「大分」対「山口」	G／ 3.12

〔各県サッカー選手権大会決勝〕（各県域）

福岡大会	G／ 6.26
熊本大会	G／ 6.26
長崎大会	G／ 6.26
鹿児島大会	E／ 8.21
宮崎大会	E／ 8.14
大分大会	E／ 8.21

〔高校駅伝〕（各県域）

全国高校駅伝各県予選

福岡県	R1／11. 6
長崎県	R1／11. 2
鹿児島県	R1／11. 2

Ⅱ．技術

１．技術業務の概要

“命と暮らしを守る”報道，放送の安定送出・電波確保に全力で取り組むとともに，域内のさまざまな災害に備えた効果的な設備整備を推進し，機能強化に努めた。さらに，質の高い番組制作を通して，地域の魅力や価値を発信し，地域の活性化に貢献した。具体的には，防災・減災報道に結びつく効果的な設備整備を推進し，公衆IP網やビッグデータの可視化など新しい技術を活用し，視聴者に“今”必要な情報を発信する放送を実施した。また，地域を舞台にしたドラマ制作やスポーツ・イベントなどの番組制作に取り組んだ。

２．防災・減災につながる情報発信と機能強化

事件・事故発生時の報道対応や台風や豪雨，噴火活動，地震などの防災・減災報道に対応するため，衛星中継車（CSK）や小型送信機（FPU），IPモバイル伝送機器を活用し，現場からの中継や伝送，特設ニュース送出，L字での情報送出等を迅速かつ確実に実施した。

また，南北に長く，離島が多い九州・沖縄地域では，取材用ヘリコプターを３か所の空港（福岡・鹿児島・沖縄）に配備し，自然災害や事件・事故発生時の迅速な対応のため，報道と連携し，警戒体制を敷いた。４月６日の鹿児島での航空自衛隊機墜落事故ではヘリの機動力を活用した。

４月の熊本地震では，熊本～福岡局間の回線増設や要員支援など迅速に緊急報道体制を確立し，災害報道やライフライン放送を実施した。また，余震や大雨による二次災害を防止するためロボットカメラによる監視の強化を行った（益城町・阿蘇北・八代港・高森町）。さらに半年後の節目には関連番組「国際放送キャラバン」「あさイチキャラバン」などに取り組み，被災地の現状，復興を応援する番組を放送した。

10月８日深夜の阿蘇中岳噴火では，あらかじめ設置していた太陽光無停電ロボットカメラで撮影，阿蘇市役所からの中継に加えて，役場屋上にもロボットカメラを増設するなどの対応を行った。また，11月８日早朝に博多駅前で発生した大規模陥没事故では，中継対応に加え，監視カメラを当日中に設置しライブストリーミングを実施するなど視聴者の関心に応えた。

その他，東海・東南海・南海沖地震に備え，放送機能強化について検討および整備を進めた。具体的には，九州・沖縄域内の取材伝送機能強化や放送会館および放送所の電源強化，ラジオ第１放送FM補完波整備などを経営計画に基づき実施した。

外国波混信対策の２局の改善リパックを完了し，受信環境の改善を図った。また，NHK共同受信施設の光化大規模改修を推進し，16年度は域内71施設で完了。設備の基盤強化に努めた。

３．地元の魅力を再発見し地域の活性化に貢献

ドラマ制作，スポーツ中継，公開番組，特番など，地域の放送局として地元で暮らす人々の元気と情熱を発信する質の高い番組の制作と送出に取り組んだ。

通算14作目となる『福岡発地域ドラマ』「たからのとき」を制作し，１月27日に九州・沖縄ブロックで放送した。プロ野球中継では，デジタル放送の機能を生かしたマルチ編成を利用して試合開始から終了まで放送するなどニーズに応えた。

５月１～２日北九州市で「G7エネルギー大臣会合」，６月23日『沖縄全戦没者追悼式』，８月９日『長崎平和祈念式典』の中継を実施。併せて国際放送局の生中継特番などを実施し，地域からの全国発信，国際発信につなげた。

６月の沖縄県議会議員選挙や７月の参議院議員選挙・鹿児島県知事選挙，10月の福岡県６区衆議院補欠選挙，17年１月の北九州市議会議員選挙，２月大分市議会議員選挙において，政見放送や選挙放送の安定送出に努め，開票速報特番・事務所中継を無事故で対応した。

３月21～24日の４日間，『ロクいち！福岡』は，北九州局の『ニュースブリッジ北九州』と連携した上海キャラバンでCS（Asiasat5）による国際中継を実施した。

データ放送においては，飲酒事故ゼロを目指す「キープゼロキャンペーン」を展開し，福岡県警と協力しながらコンテンツを制作し，飲酒運転撲滅に取り組んだ。また，札幌局と協力してプロ野球中継で視聴者がリモコンやスマートフォンで参加できる双方向応援合戦コンテンツを放送し，地域の視聴者のニーズに応えた。

４．CS向上推進

５月の会館公開では，デジタルサイネージを利用した体験型ゲームを実施し，来館者に楽しんでもらいながら『ロクいち！福岡』などの番組PRを行った。

８月１日に開始したSHV試験放送に合わせて整備された８Kモニターや受信機を活用して域内各局でさまざまな受信公開活動を展開した。

２月19日に「ダイスキ！福岡キャンペーン」による関連番組を福岡局T1スタジオで公開収録した。さらに『ダイスキ！フェス』公開生放送を３月16日に福岡サンパレスから実施し，若者層への結び付きや理解促進を図った。

Ⅲ．視聴者

１．広　報

16年度，九州・沖縄の各県には，視聴者から電話などで13万2,189件の意見・問い合わせが寄せられた。

（１）番組広報

福岡局では，金曜夜間の情報番組『なるほど実感報道ドドド！』がスタート。放送記者会でのキャスター会見，西鉄福岡駅の大型ビジョンやバスセンターへのポスター掲示などさまざまな広報活動を行った。１月には，東峰村を舞台にした『福岡発地域ドラマ』「たからのとき」を制作し放送。放送開始前にはロケ地での出演者会見，地元フリーペーパー誌での記事掲載や電車の車内広告に加えて，フェイスブック広告等ITを活用した取り組みを行うなどの広報活動を展開した。また，『宮崎発地域ドラマ』「宮崎のふたり」のPRにおいて，宮崎局は県タクシー協会の協力を得て宮崎市内のタクシー1,200台にウインドーステッカーを掲出，また，渋谷駅のサイネージポスター掲示や羽田空港待合室でのドラマスポット上映など積極的な広報に努めた。

（２）地域サービス

福岡局では，海の中道の飲酒運転事故から10年という節目を受けて，11月に公開イベント「飲酒運転事故“ゼロ”について考える」を開催した。飲酒運転事故をテーマに７月に放送した『なるほど実感報道ドドド！』と連動した企画で，実際の放送で使用しているスタジオを会場として利用した。

北九州局では，「NHK介護百人一首」の16年入選作品のパネル展を５月に実施した。

熊本局では，熊本県立美術館で「第157回NHK・美術館コンサート」を開催。当初５月の予定が４月の熊本地震の影響でいったん延期となった

が，復興への願いを込めて９月に実施した。

長崎局では，“平和への思いの発信”を目的とし，地域放送番組『平和のしゃべり場』の公開収録を３月に実施。長崎市内の中高生を中心とする多くの10代の若者が収録を観覧した。

鹿児島局では，２月に「鹿児島防災シンポジウム　巨大地震　その時何が」を県民ホールで開催。熊本地震を受け，地元民放との共催で実施した。

大分局では10月，NHK防災キャンペーン「知ることで助かる命がある」を開催。これまで大分局単独のイベントだったが，16年度初めて臼杵市との共催で実施した。

沖縄局では，５年に１度世界中から沖縄県系人が集まる「世界のウチナーンチュ大会」（10月）のプレイベントとして沖縄県と共催でラジオ番組『うちなぁジョッキー』を公開生放送で実施した。

（３）理解促進活動

福岡局では，８月と10月に会館でスポーツイベントを実施するなど，頻繁に会館でイベントを行った結果，来館者数が15年度に比べ約３割増加した。

また，福岡局をはじめ九州・沖縄の各局では８月に始まったスーパーハイビジョン（SHV）試験放送に合わせて受信公開を実施，SHVの理解促進に努めた。特に佐賀局では，８月の１か月間，県内の公共施設４か所で巡回SHVパブリックビューイングを行ったほか，「８K大相撲」では佐賀市バルーンミュージアムで受信公開を実施した。また，長崎局では８月，長崎市内の商店街アーケードに１週間SHVモニターを設置した。熊本局では会館に300インチの大型スクリーンを設置し紅白歌合戦のSHVパブリックビューイングを行ったほか，３月にはJR熊本駅で「８K大相撲」と「高校野球」の受信公開を行った。大分局では３月の「８K大相撲」の会場で相撲実況30年の経験がある吉田賢アナウンサーによる解説を３日間行った。

２．イベント事業

16年度，九州・沖縄地方では，全国放送公開番組をはじめ，教育・福祉・スポーツイベント，食料・環境などのキャンペーン，地域企画イベントなど，さまざまなジャンルのイベント197本を実施し，47万5,046人の視聴者と触れ合った。

（１）全国・地域放送番組の公開放送

『NHKのど自慢』『新・BS日本のうた』『にほんごであそぼ』などの全国放送公開番組や，『大相撲九州場所前夜祭』『ダイスキ！フェス』などの地域放送公開番組を九州・沖縄で41本実施し，５万5,000人を超える来場者に向けて公開放送した。

（２）地域企画イベント

沖縄局では，５年に１度世界中のウチナーンチュ（沖縄県系人）が一堂に会する「世界のウチナーンチュ大会」にあわせて国際放送番組『J-MELO』の公開放送を那覇市で行ったほか，宮崎局では，『宮崎発地域ドラマ』「宮崎のふたり」にちなんで，男女ペアでマラソンに参加してもらうドラマ関連イベントを宮崎市で行った。また，熊本局では，水俣病が公式に確認されてから60年となる節目に，水俣病を若い世代に語り継ぐ朗読イベントを熊本市で実施した。

（３）教育・こどもイベント

福岡局では，ファミリーイベント「いないいないばぁ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」を大牟田市で，「おかあさんといっしょファミリーコンサート」を福岡市で実施し，合わせて6,000人を超える家族連れでにぎわった。また，九州・沖縄各県で毎年行っている「NHK全国学校音楽コンクール」に239校２万524人，「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」に468校4,058人の児童・生徒の参加があったほか，番組作りを通して小学生に放送の仕組みを学んでもらう「NHK放送体験クラブ」には，90校4,448人の児童が参加した。学校教育への放送の活用を考える「第65回九州地方放送教育研究大会」を，熊本市で開催し，九州・沖縄各県の幼稚園・保育園，小・中・高等学校の教育関係者287人が参加した。

（４）スポーツ・福祉・キャンペーン

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの開催に合わせて，関連イベントを福岡市と大分市で企画・実施し，両会場で１万5,994人の来場があった。また，福祉イベントとして，障害のある人とない人が作り上げるファッションイベント「つながるコレクション」や，障害のある人が書いた詩を著名人がアートで表現する「NHKハート展」などを福岡市で開催し，計3,130人の来場者があった。そのほか各局では，食料，環境，防災など各局独自の視点で地域の課題を取り上げたキャンペーンイベントを実施した。

（５）その他（展覧会）

「特別展　始皇帝と大兵馬俑」

（16.3.15～6.12）19万1,222人

「第63回日本伝統工芸展」

（17.2.3～８）9,589人

３．営　業

４月に発生した熊本地震の影響を踏まえて，九

州・沖縄ブロック全体で“がまだす（頑張る）指標”を掲げ目標推進を行った。しかし，下半期以降，法人事業者の撤退や社員退職などにより稼働要員数が最大で前年比77人減となるなど，訪問要員体制の構築に苦戦した。１月に拠点主導で域内の法人事業者に対してDMテレマでの勧奨を行い，９社21人と契約締結をするも，16年度中の戦力化に至らず，ブロックの全営業目標達成を果たせなかった。

一方で，職員の営業活動については，域内育成担当職員を１局に集め，課題事業者に育成ノウハウを継承する法人合宿の複数回実施，若手中堅職員の企画力・事業所対応力向上を目的とした事業所キャラバンの全局実施，福岡で初めてとなる未契約事業所に対する民事訴訟の提起，困難度の高いレジャーホテルへの民事調停による契約対策などに取り組み，業務の高度化を図れた。

また，「ターゲット80活動」については域内各局でBS番組と連動した活動を全局体制で取り組んだ。『宮崎のふたり』などの番組を通して地元ケーブルテレビ事業者と連携を強化し，衛星受信者普及と衛星取次向上を図ることができた。

コンプライアンス面では，長崎局の法人事業者による不正が発覚。品質面で大きな課題を残した。